

第3章 世話の時間の長さによる児童・生徒の状況

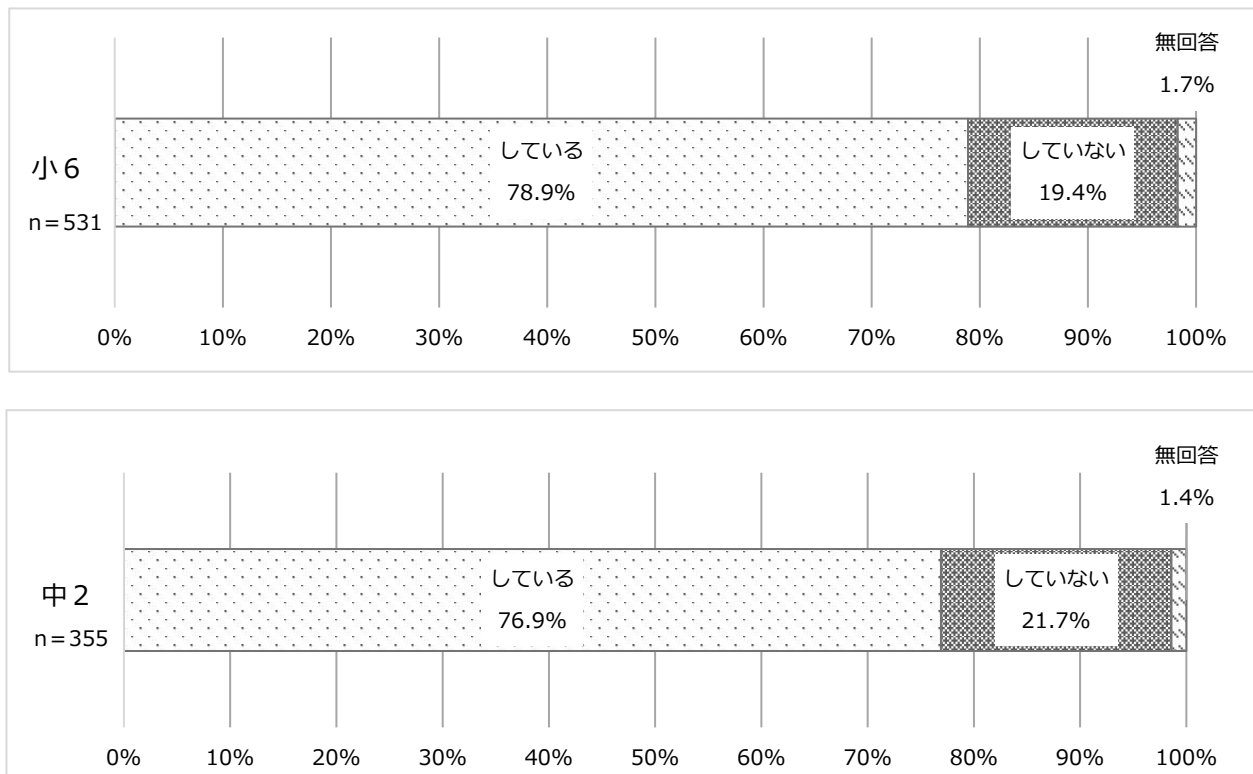
(世話の時間の長さ別 クロス集計)

3-1 回答者の属性

【問 11】において、「あなたは家族のお世話をしていますか」に小学生 419 名、中学生 273 名が「世話をしている」と回答している。【問 11】で「世話をしている」児童・生徒を特定し、世話をしている日数（【問 14】、図表 3-1-4）と平日に世話をしている時間（【問 15】、図表 3-1-5）で世話の時間の長さに3分類（図表 3-1-2）し、生活状況の詳細を確認する。

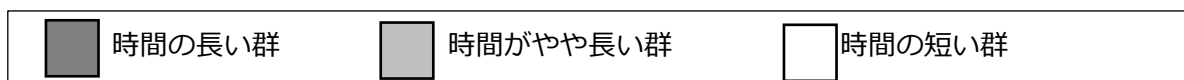
【問 11】（単一回答） あなたはお世話をしていますか。

図表 3-1-1 世話をしている子どもの割合

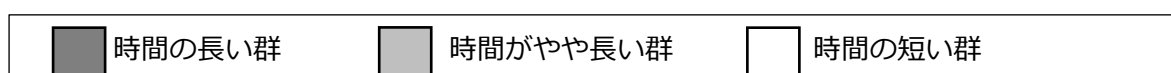


図表 3-1-2 子どもが家族の世話をする時間の長さ

小 6		問 15 による世話の時間で分類					
		3 時間超	2 ~ 3 時間	1 ~ 2 時間	30 分 ~ 1 時間	30 分 未 満	無回答
問 14 による世話の日数で分類	ほぼ毎日	9	19	47	72	47	32
	週に 3 ~ 5 日	1	1	11	48	27	
	週に 1 ~ 2 日	0	2	8	28	39	
	1 か月に数日	28					
	無回答	分類不能					



中 2		問 15 による世話の時間で分類					
		3 時間超	2 ~ 3 時間	1 ~ 2 時間	30 分 ~ 1 時間	30 分 未 満	無回答
問 14 による世話の日数で分類	ほぼ毎日	4	14	37	41	28	21
	週に 3 ~ 5 日	0	3	6	41	16	
	週に 1 ~ 2 日	0	2	5	14	26	
	1 か月に数日	15					
	無回答	分類不能					

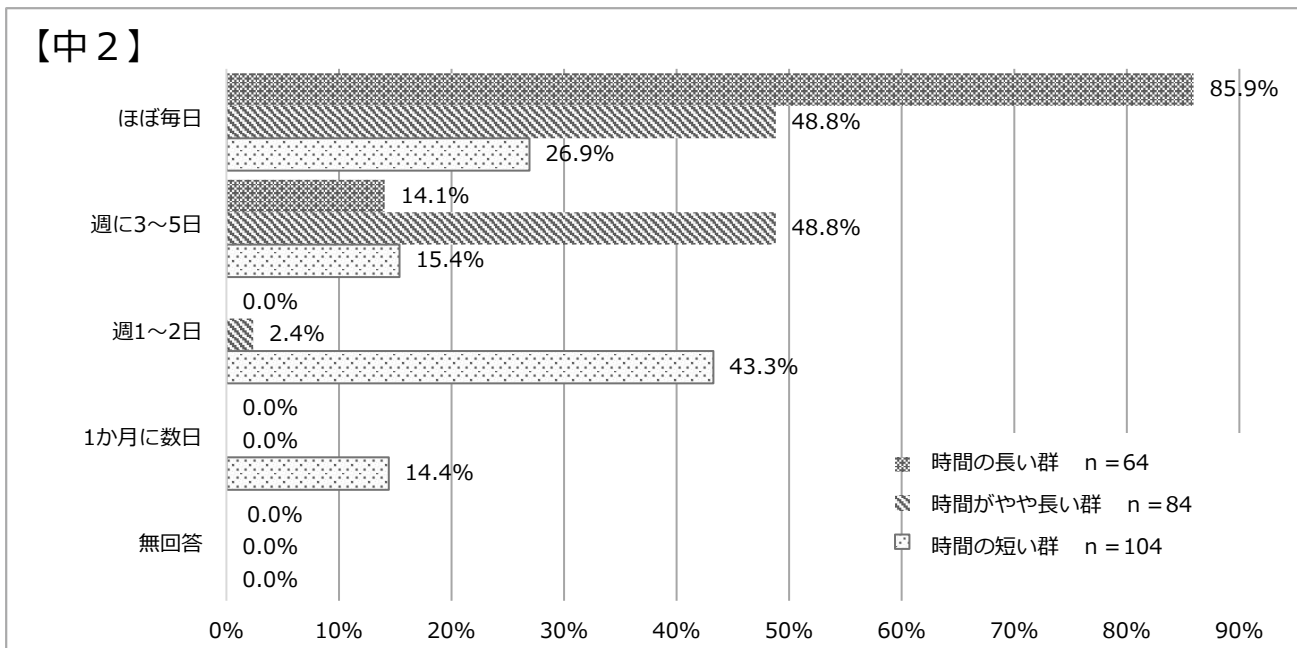
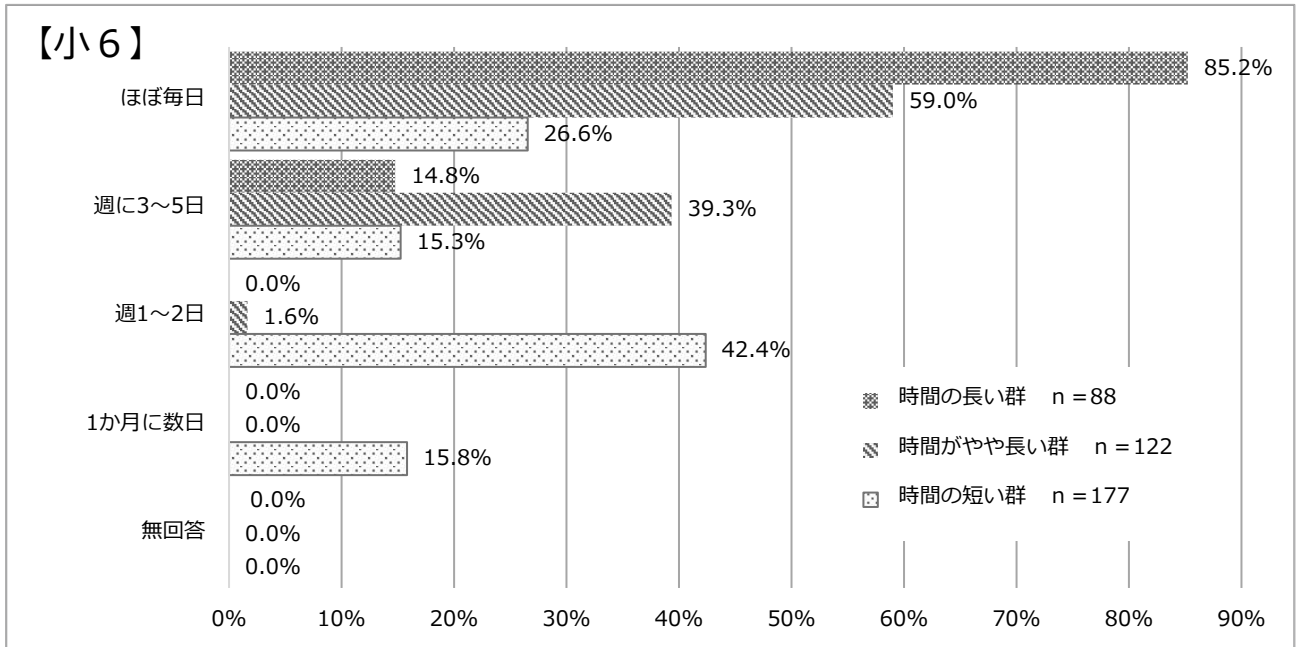


図表 3-1-3 「世話の有無」、「世話をしている日数」、「世話をしている時間」のクロス集計により算出した各分類群に属する子どもの数

	時間の長い群	時間がやや長い群	時間の短い群	(分類不能)
小学 6 年生	88 人	122 人	177 人	(32 人)
全体に占める割合 (n = 5,404)	1.6%	2.3%	3.3%	(0.6%)
中学 2 年生	64 人	84 人	104 人	(21 人)
全体に占める割合 (n = 4,162)	1.5%	2.0%	2.5%	(0.5%)

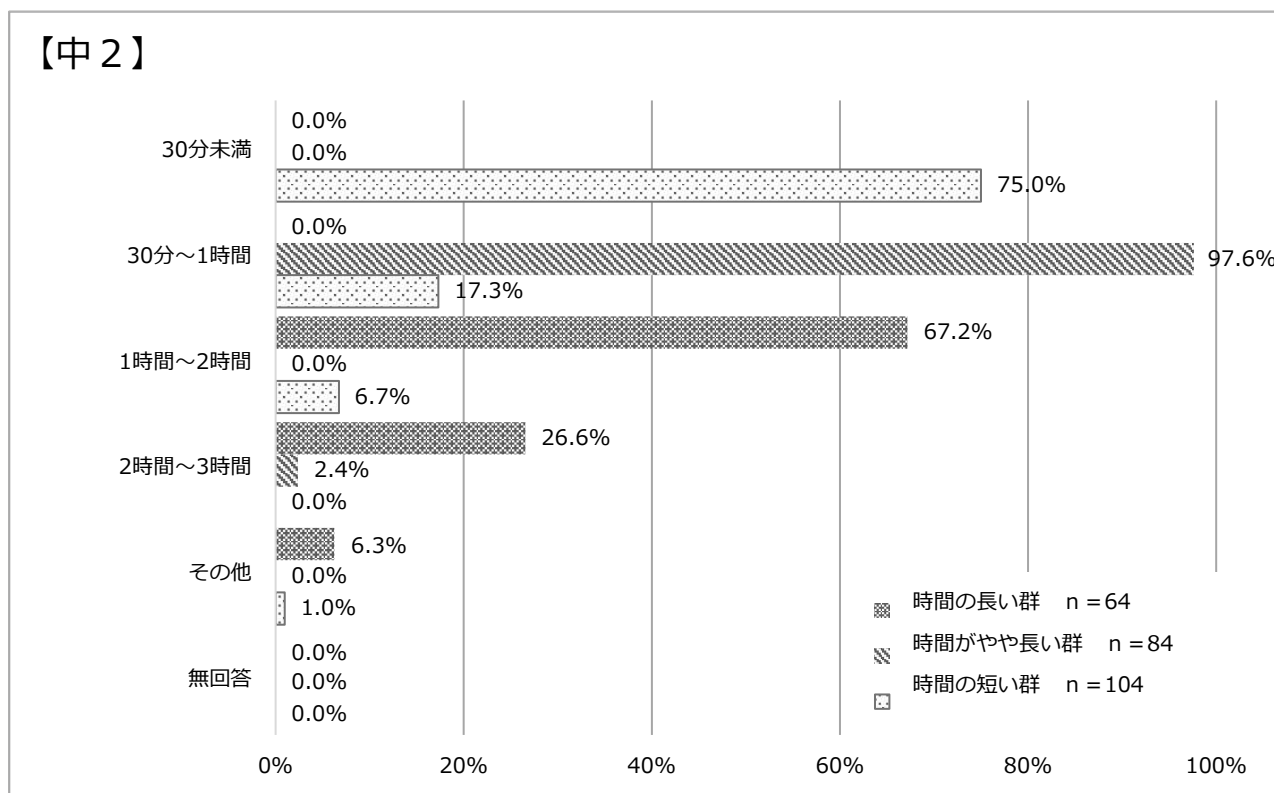
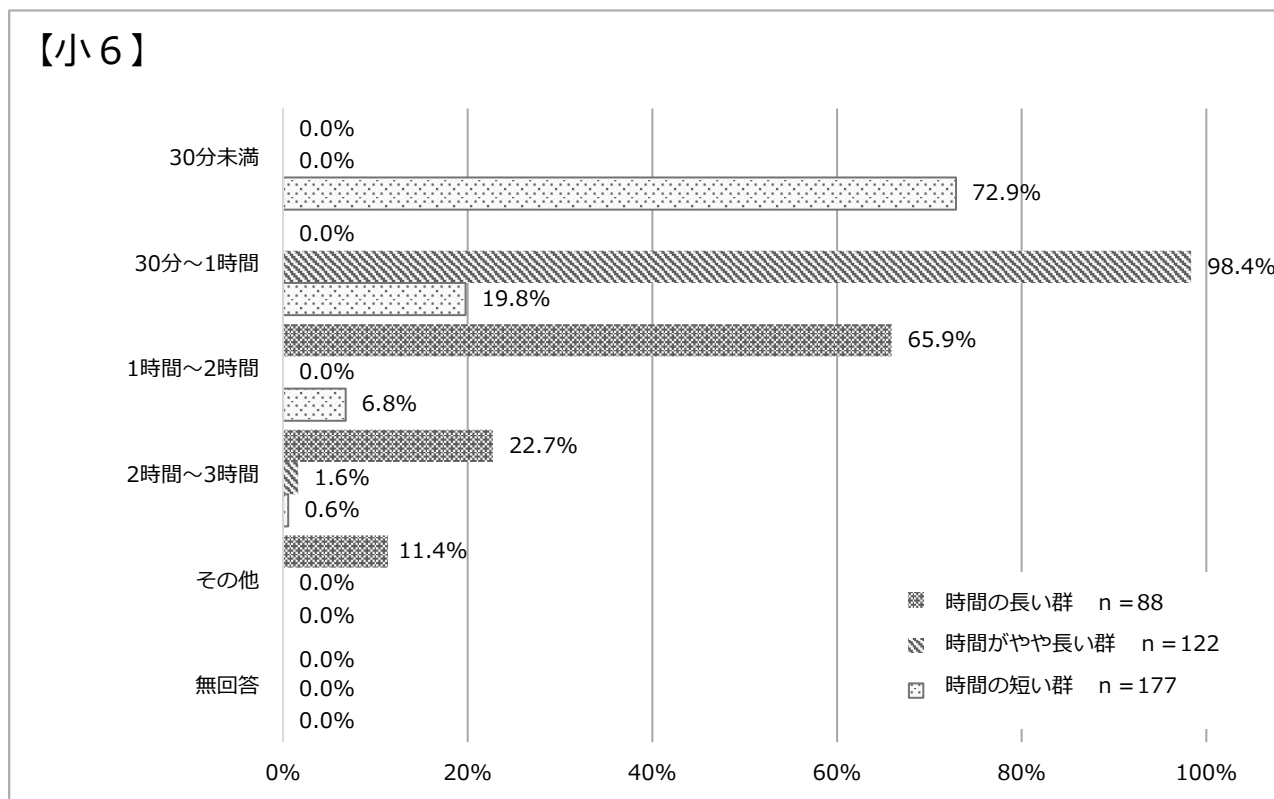
【問 14】（単一回答）あなたが家族のお世話をする日数はどのくらいですか。

図表 3-1-4 世話をする日数

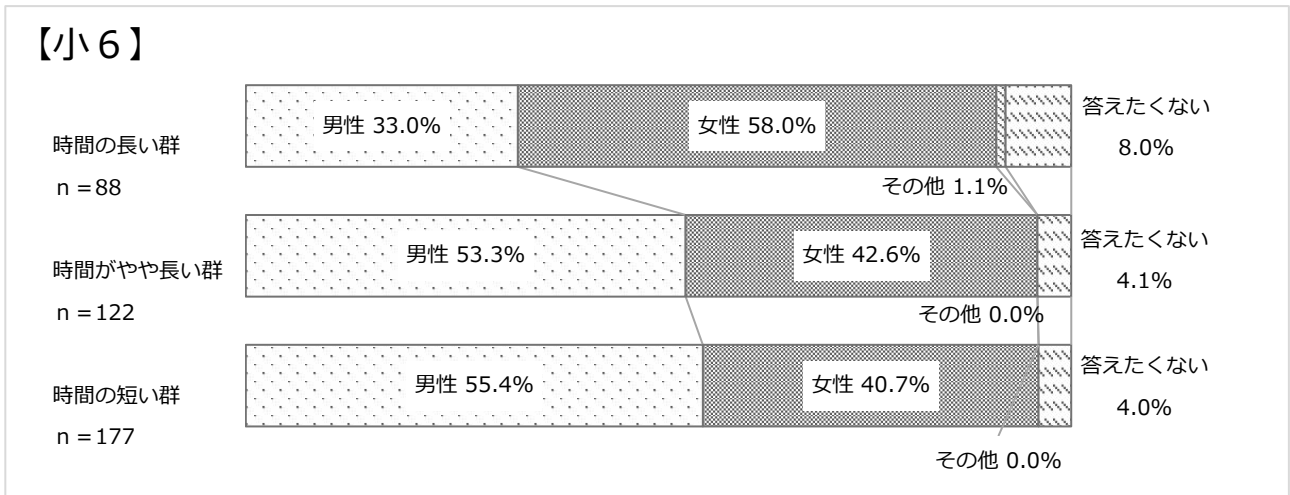


【問 15】（単一回答）あなたがお世話をする時間は、平日何時間くらいですか。

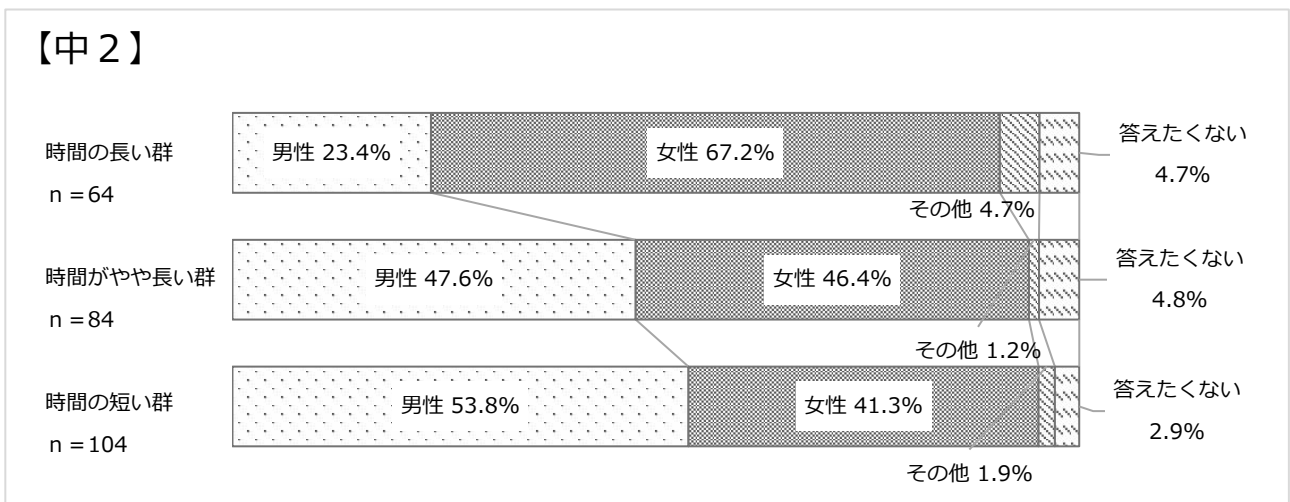
図表 3-1-5 世話をする時間



図表 3-1-6 世話の時間の長さ別 男女比



性別	時間の長い群	時間がやや長い群	時間の短い群
男性	29	65	98
女性	51	52	72
その他	1	0	0
答えたくない	7	5	7
計	88	122	177



性別	時間の長い群	時間がやや長い群	時間の短い群
男性	15	40	56
女性	43	39	43
その他	3	1	2
答えたくない	3	4	3
計	64	84	104

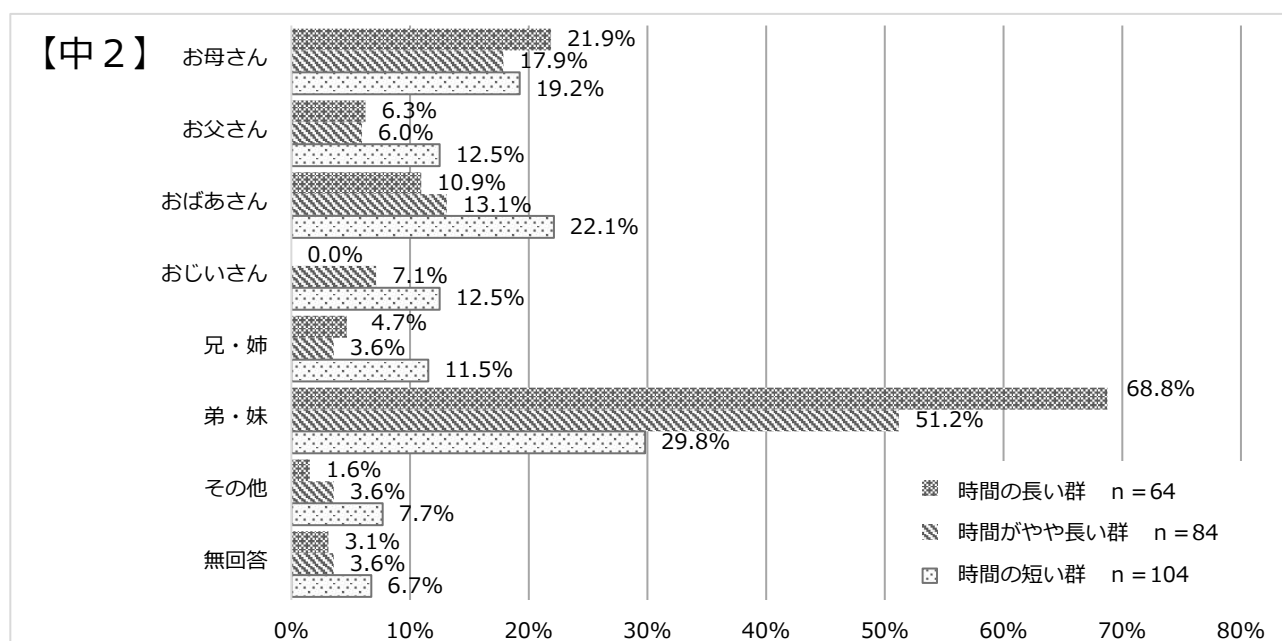
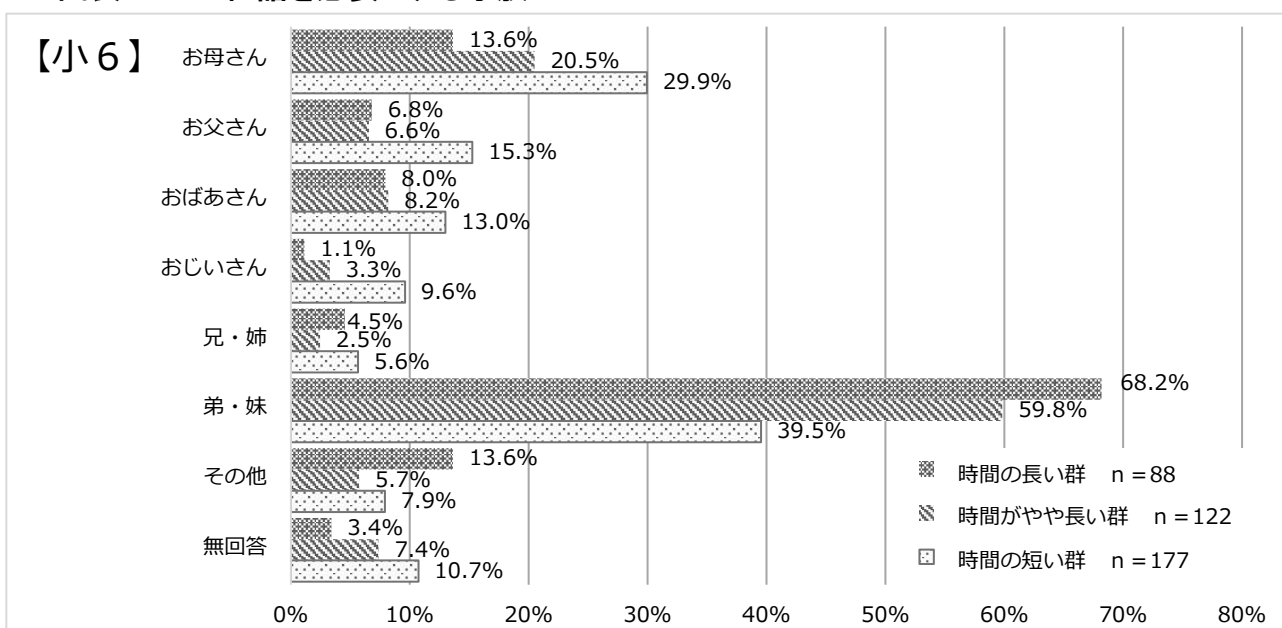
3-2 家族の世話をする児童・生徒の状況

3-2-1 世話をする対象者

世話を必要とする家族は、いずれの群も「弟・妹」が多く、小学生、中学生ともに「時間の長い」群でその回答が多くなる特徴がある。「時間の短い」群では、「祖父母」が他の群と比べてやや多くなっている（図表 3-2-1）。

【問 9】（複数回答）お世話を必要とする人はだれですか。

図表 3-2-1 世話を必要とする家族

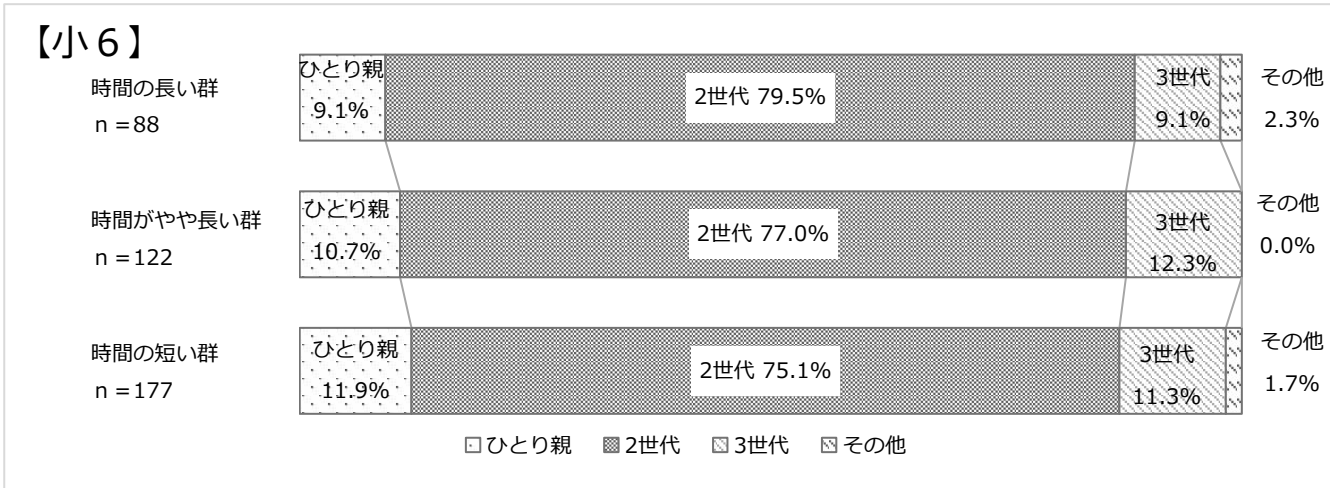
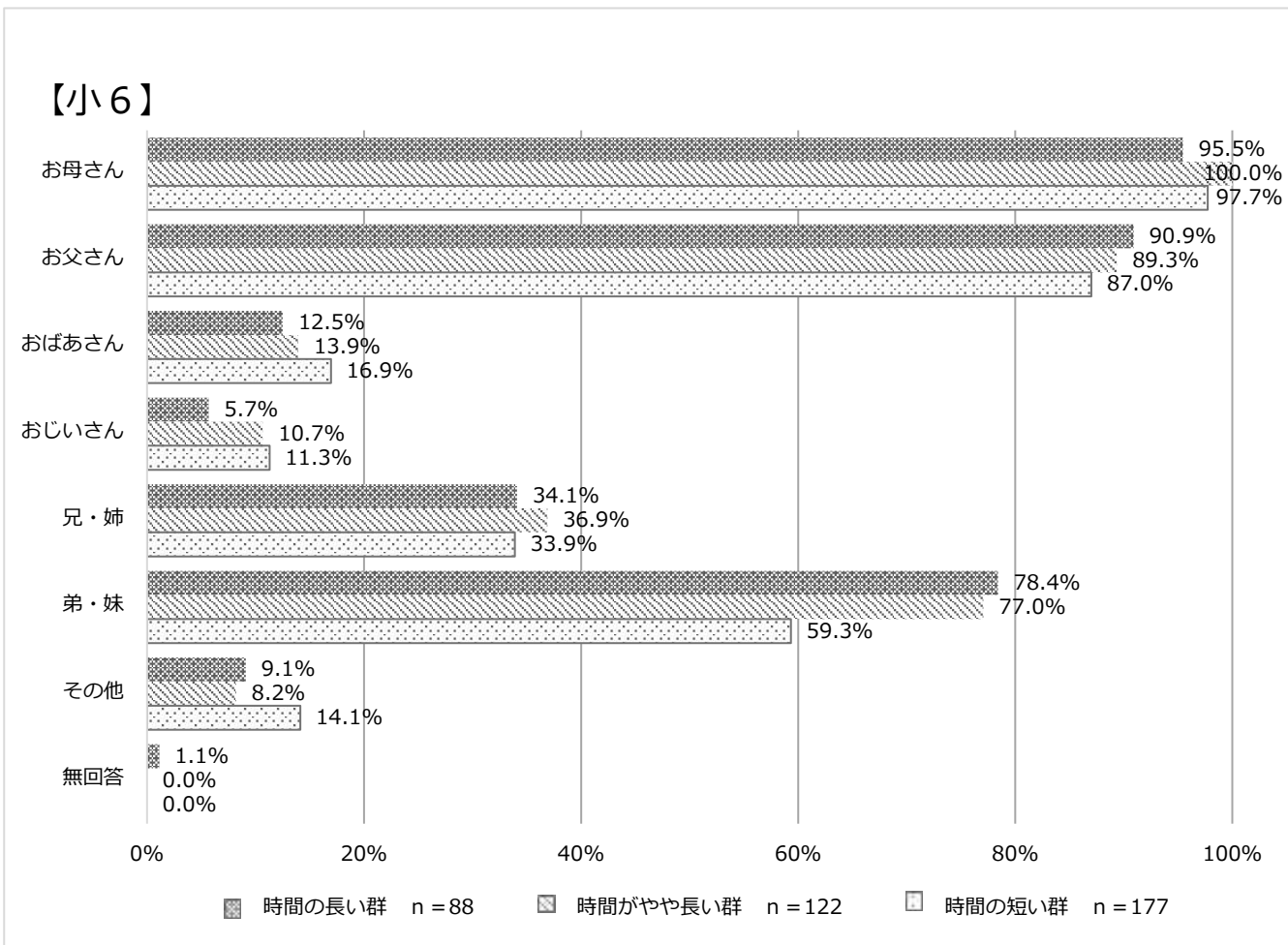


3-2-2 世帯構成

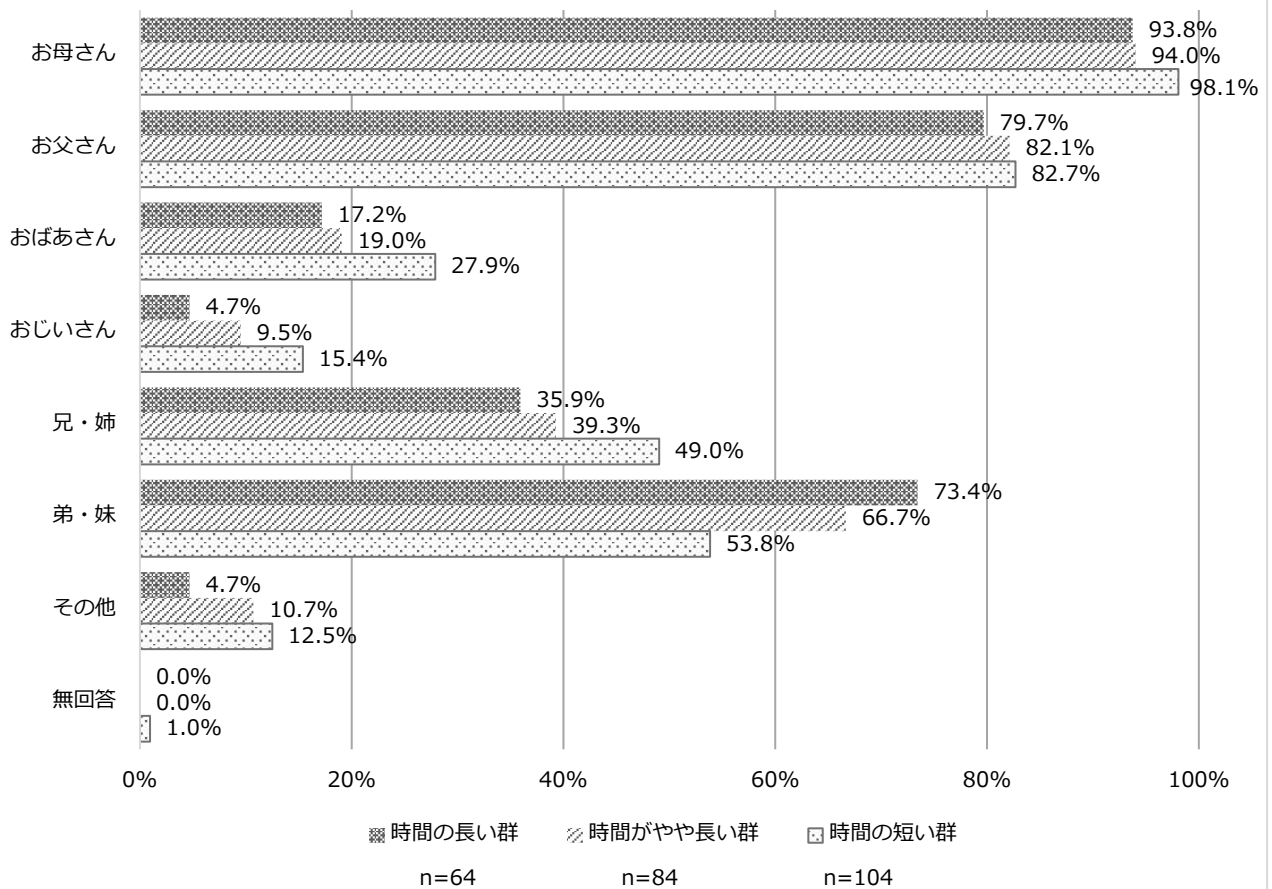
世帯構成においては、すべての群で「2世代」が多いが、中学生においては「時間の長い」群で「ひとり親世帯」がやや多く、「時間の短い」群で「3世代」が多い特徴がみられる（図表 3-2-2）。

【問7】（複数回答） いっしょに住んでいる人はだれですか。（回答から世帯状況を分類）

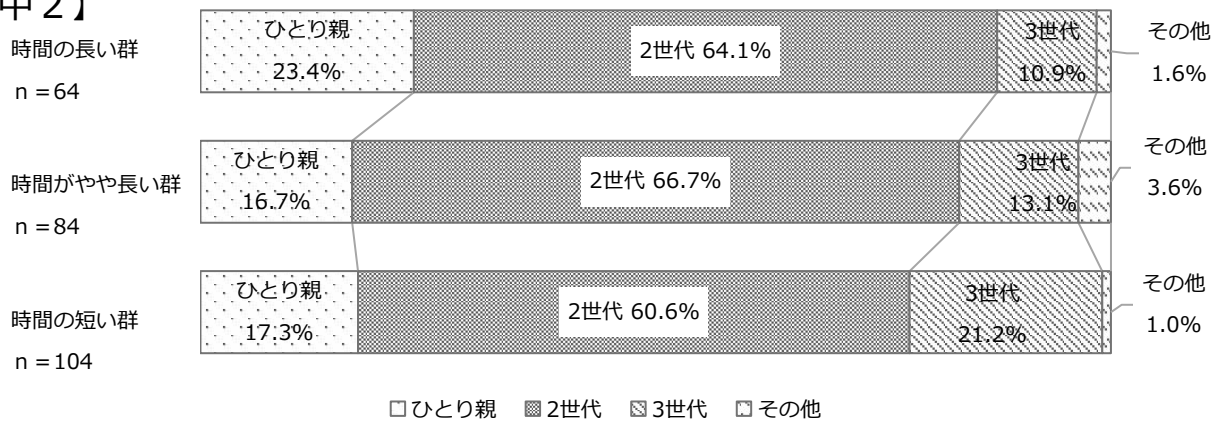
図表 3-2-2 同居家族と世帯状況



【中2】



【中2】



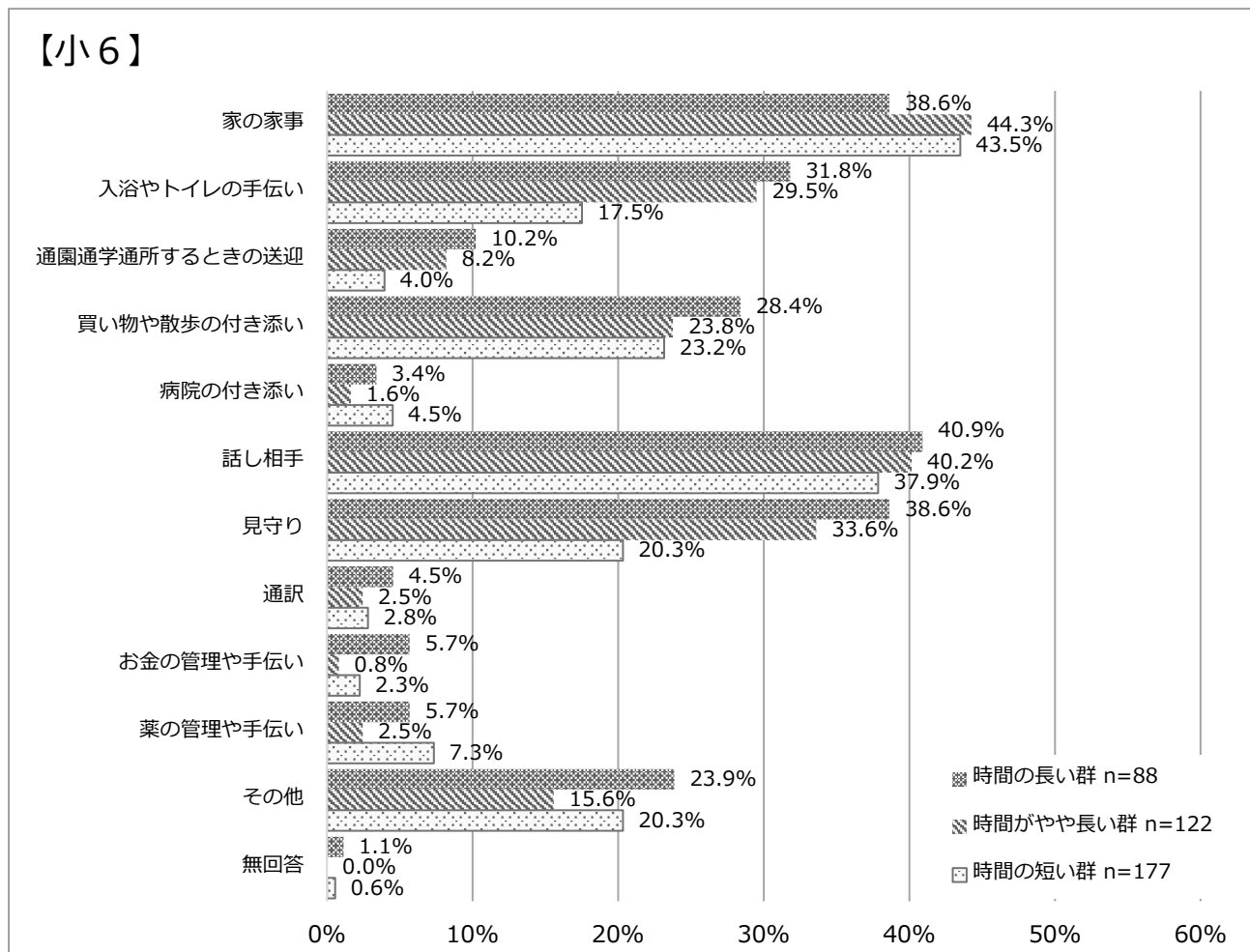
3-3 世話の内容と理由

3-3-1 世話の内容

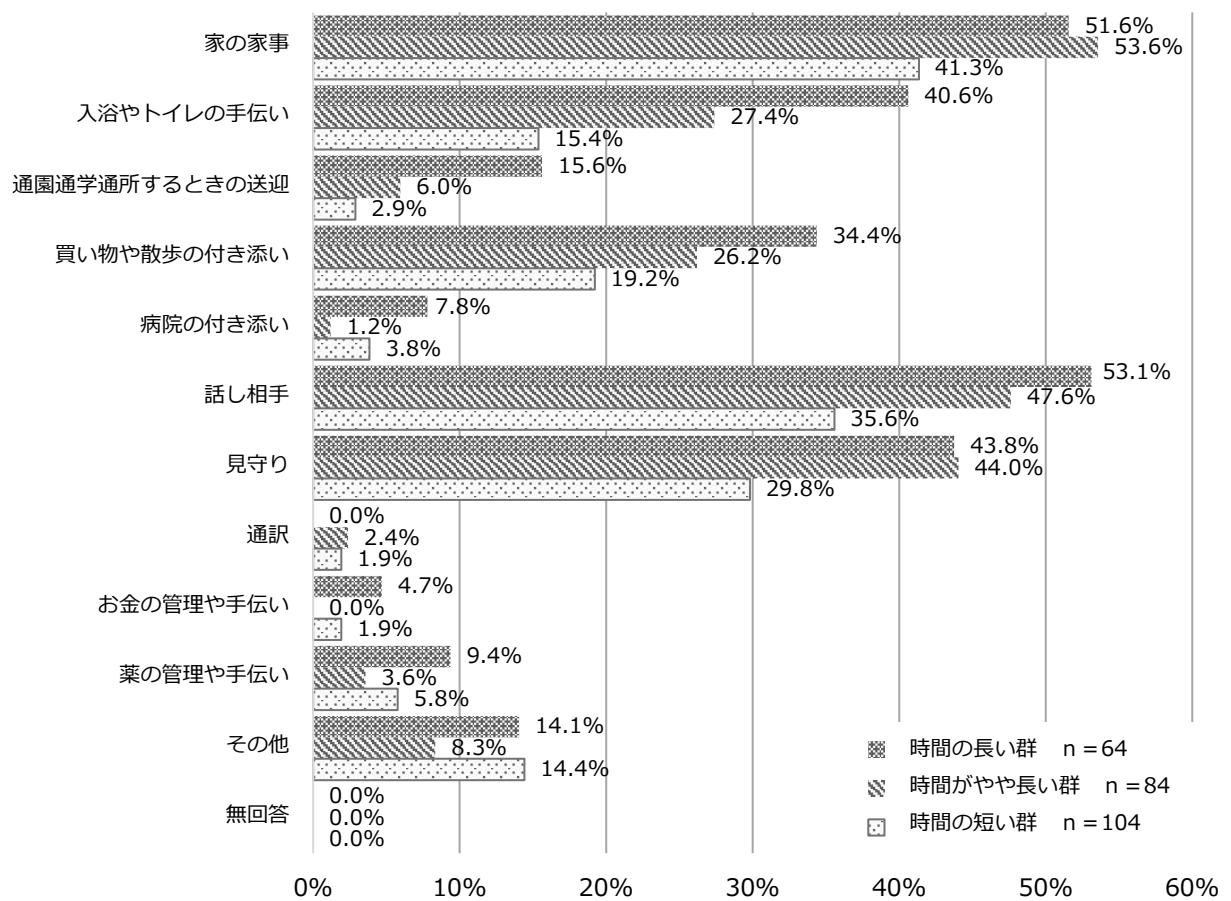
世話の内容では、すべての群で「家事」や、「話し相手」、「家族の見守り」が多いが、順位は群によって異なっている。「時間の長い」群では、「話し相手」、「家事」の順であるが、他の群では「家事」、「話し相手」となっている（図表 3-3-1）。また、中学生の「時間の長い」群では、「入浴やトイレの手伝い」、「買い物や散歩の付き添い」なども多く、子どもが幅広く日常生活で家族の世話に関わっていると考えられる。

【問 12】（複数回答）あなたがしているお世話の内容を教えてください。

図表 3-3-1 世話の内容



【中2】



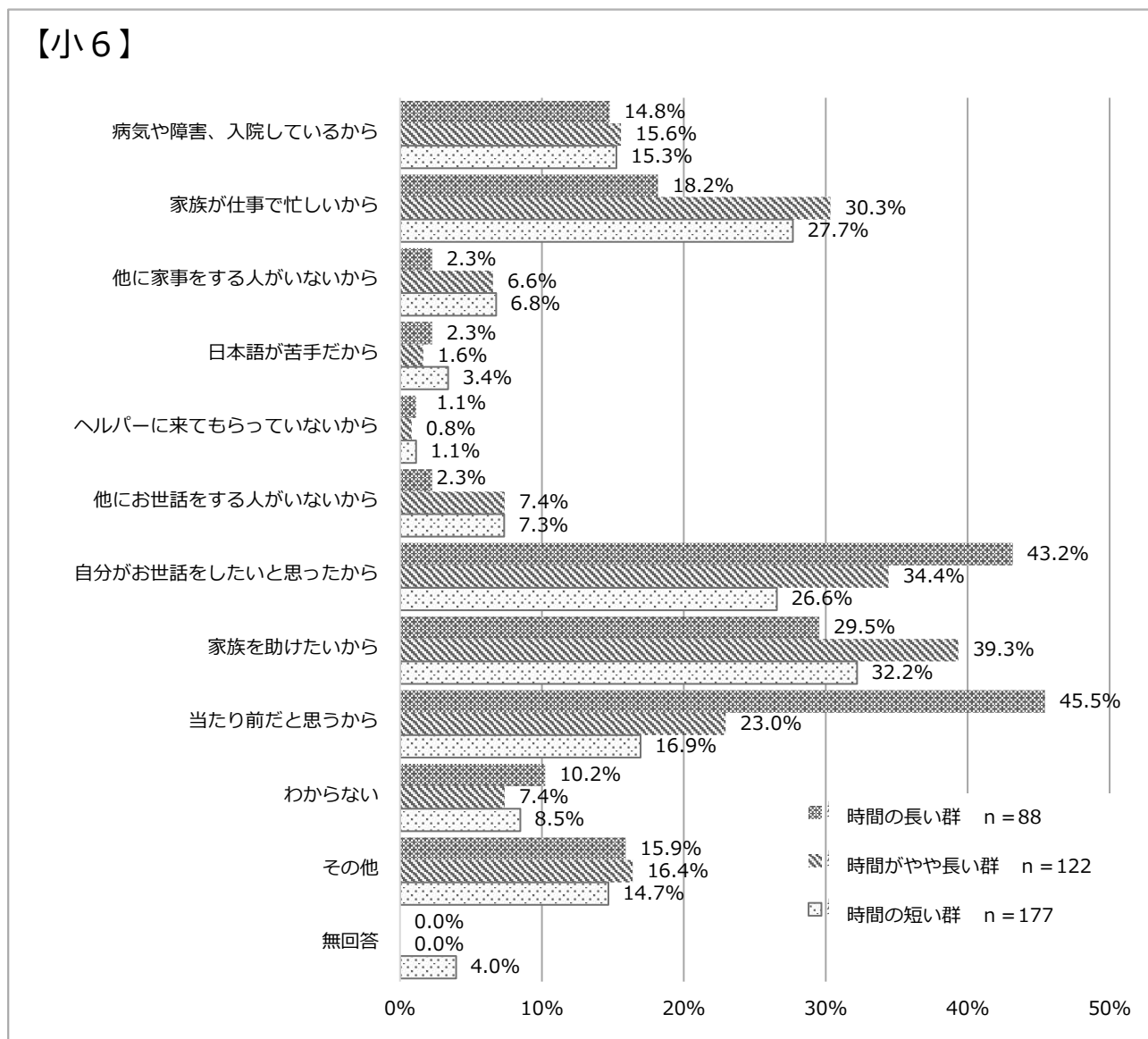
3-3-2 世話をする理由

世話をする理由では、「自分が世話をしたいと思った」、「当たり前だと思う」、「家族を助けたい」といった世話に自発的に関わろうとする気持ちを理由にした回答がすべての群において多く、特に「時間の長い」群で「当たり前だから」の回答が多い特徴がある。

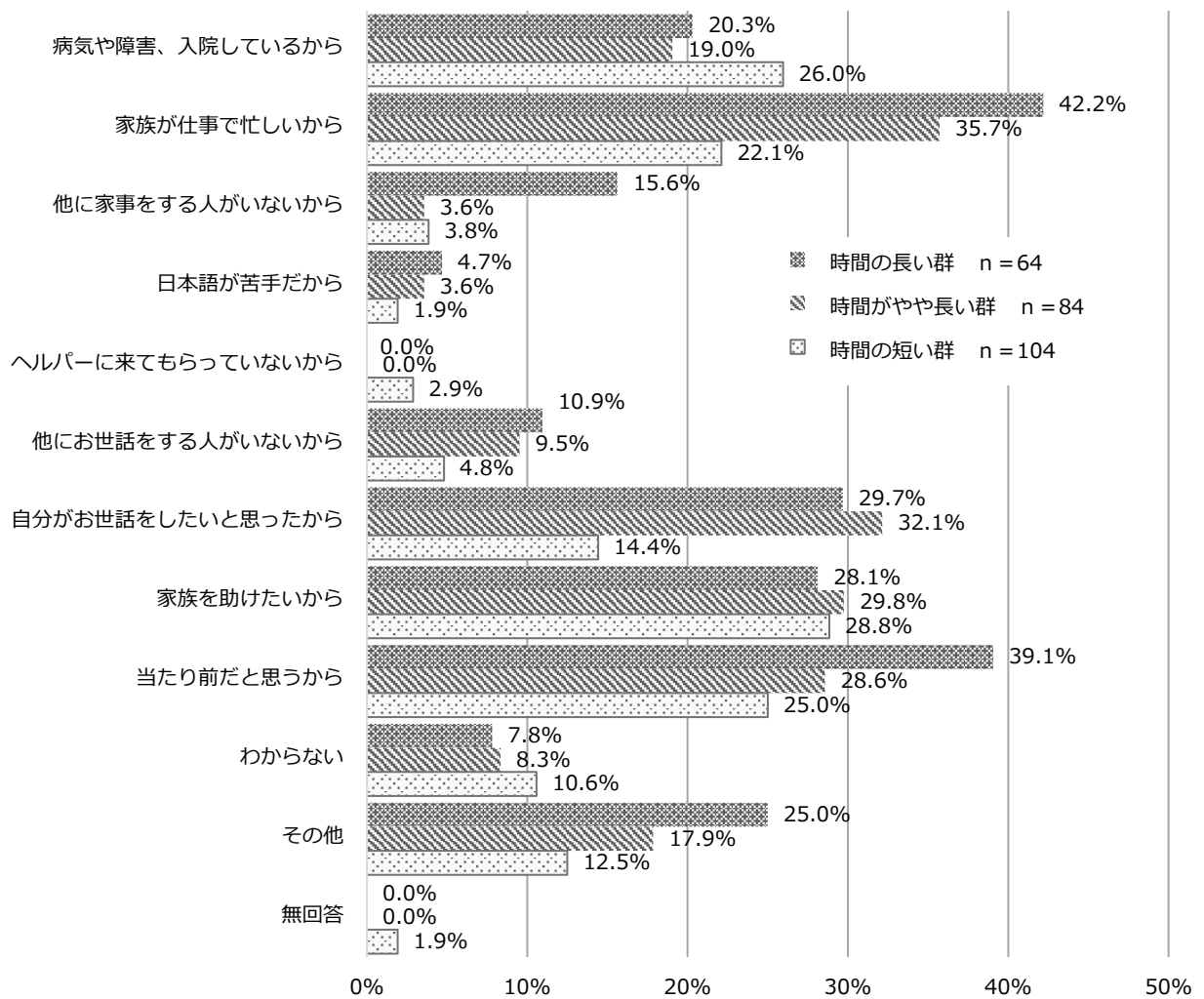
また、中学生の「時間の長い」群および「時間がやや長い」群では、気持ちによる理由よりも、具体的な家庭状況の「家族が仕事で忙しいから」の割合が最も高くなっている（図表 3-3-2）。中学生は、自分の置かれた環境をより理解して回答していると考えられる。

【問 13】（複数回答）あなたがお世話をしている理由を教えてください。

図表 3-3-2 世話をする理由



【中2】



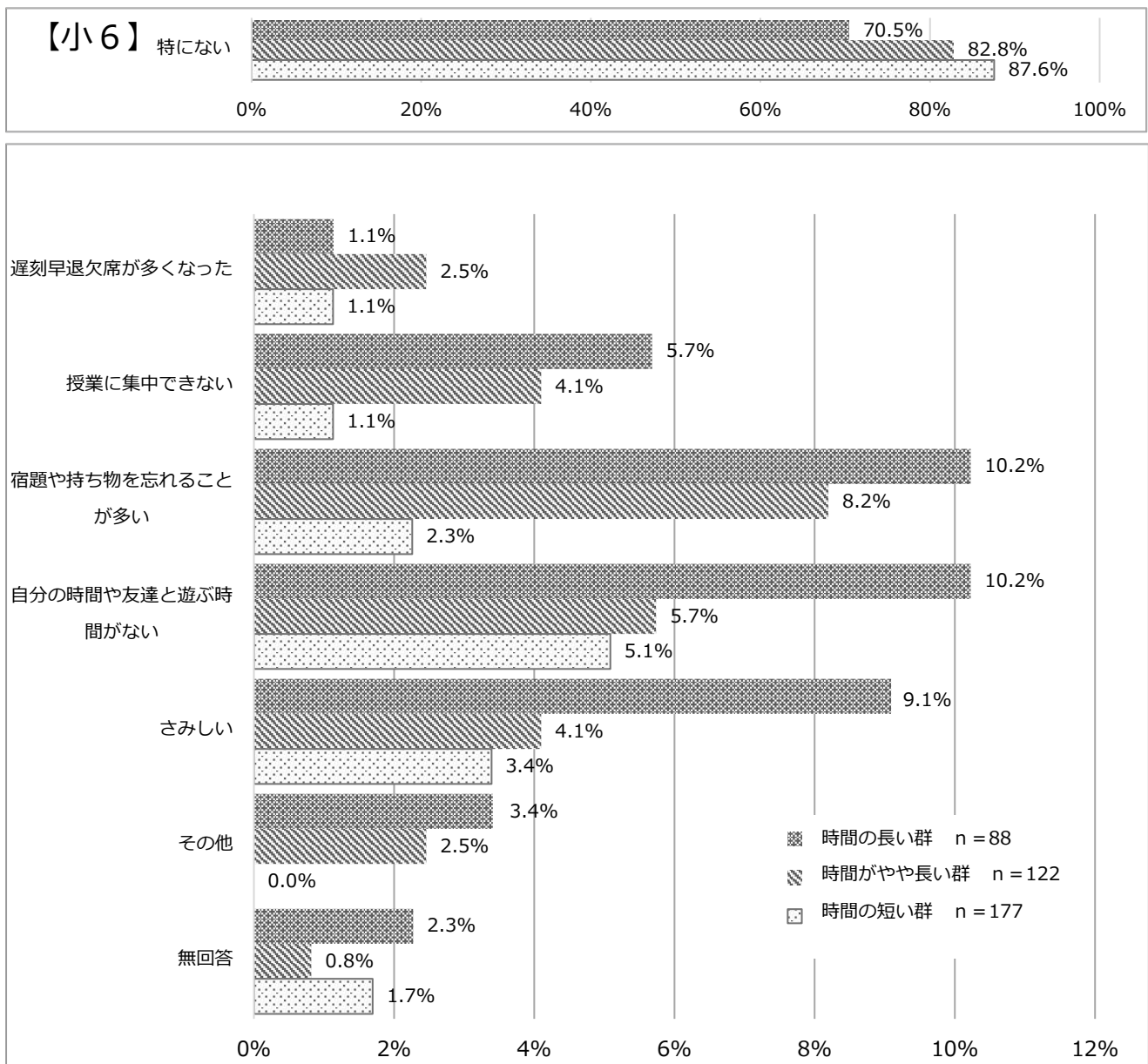
3-4 世話をすることによる影響と思い

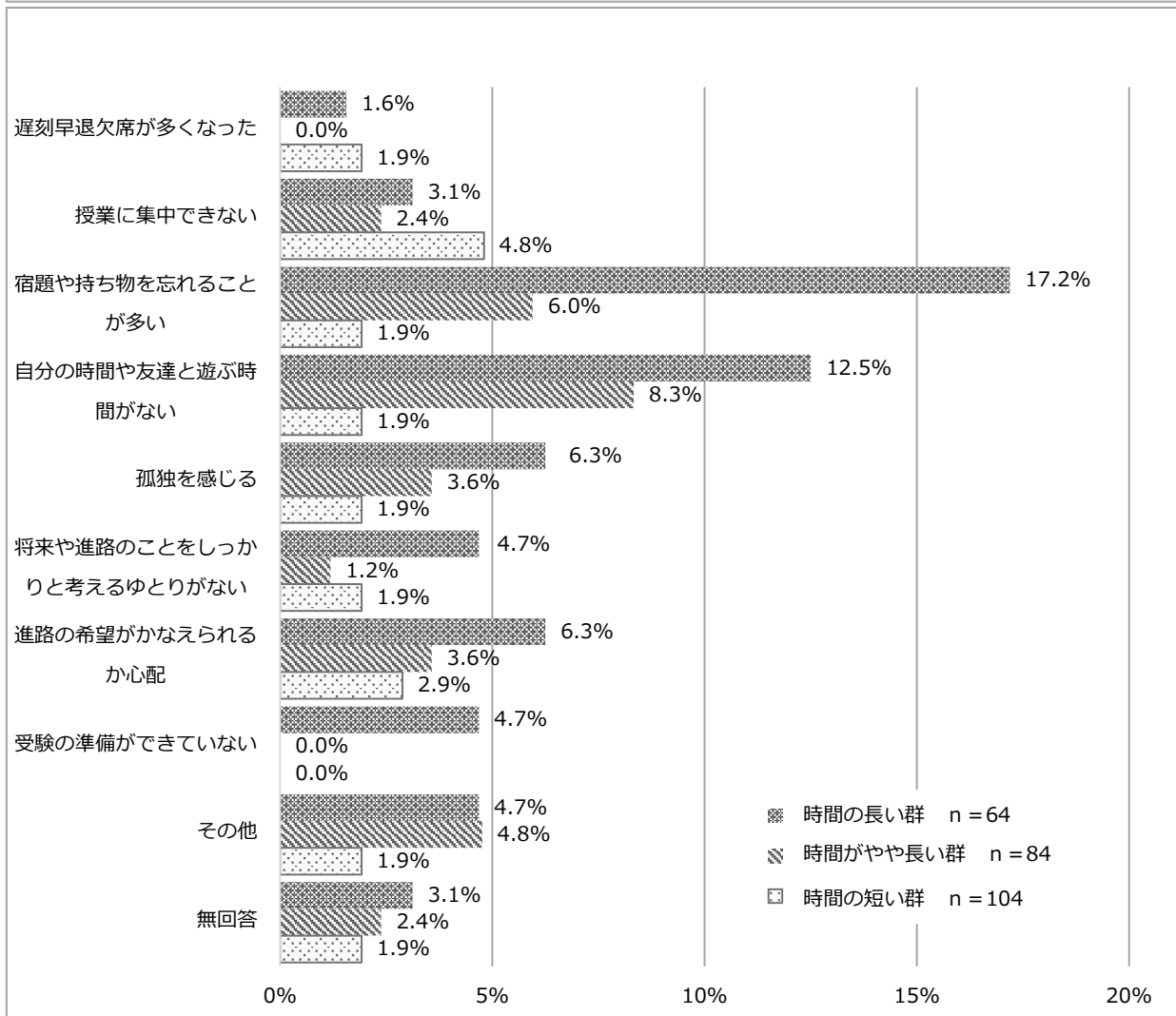
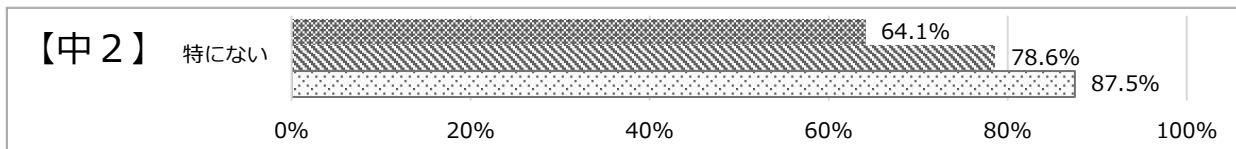
3-4-1 世話をすることによる影響

世話をすることによる影響は、小学生、中学生ともに「特にない」がすべての群で特に多いが、「時間の短い」群でより回答は多くなる。「時間の短い」群では、具体的な選択が少なくなる傾向がある。「宿題や持ち物を忘れることが多い」、「自分の時間や友達と遊ぶ時間がない」の選択は「時間の長い」群が他の群と比して多くなっており、他の具体的な項目の選択も多い傾向にある（図表 3-4-1）。「時間の長い」群は具体的に世話の影響を感じていると考えられる。

【問 16】（複数回答）お世話をしていることで、つぎのようなことがありますか。

図表 3-4-1 世話をすることによる影響





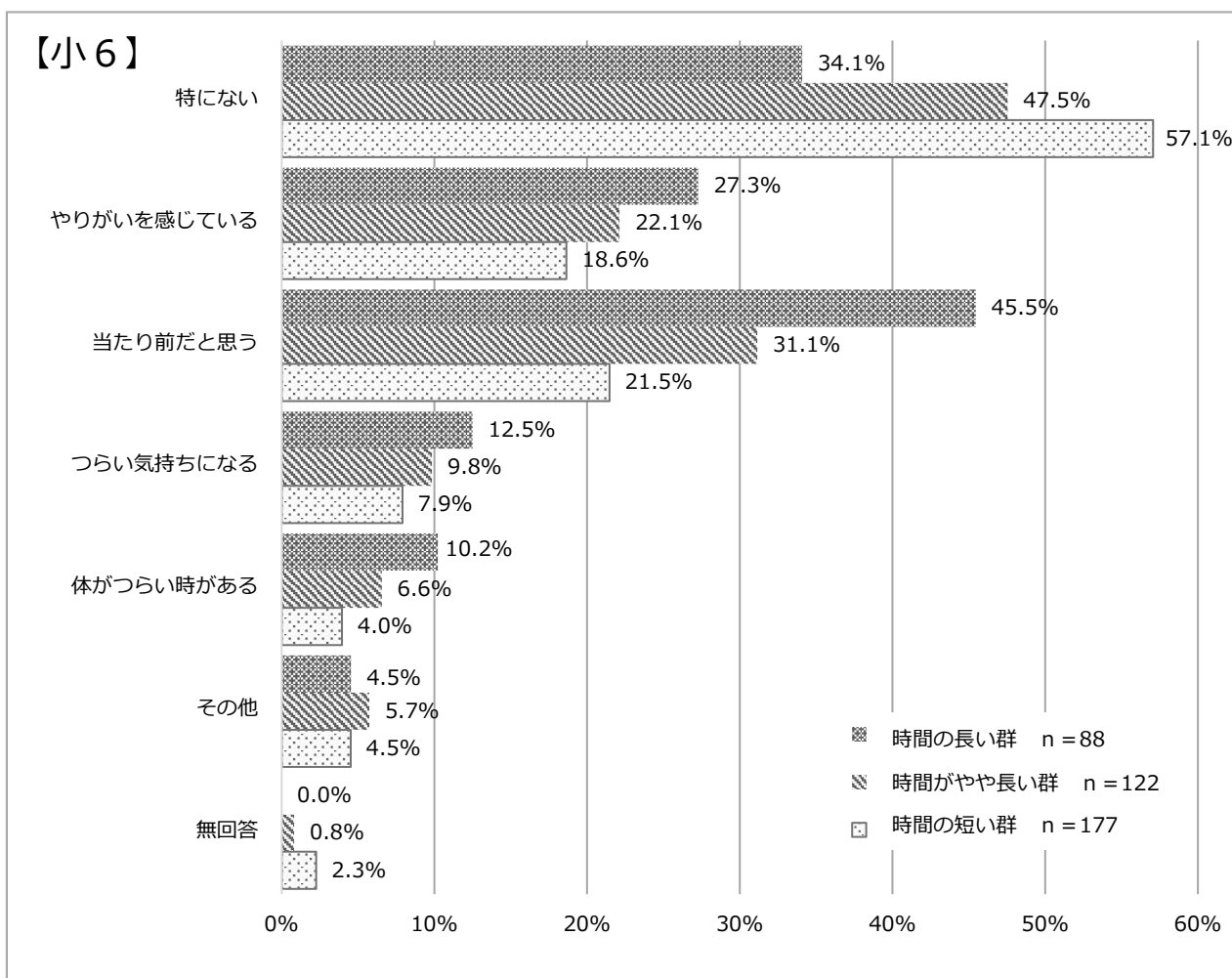
3-4-2 世話をすることについて思っていること

本人が思っていることとしては、すべての群で「特にない」が多い。特徴的な傾向として、「時間の長い」群で具体的な項目の選択が他の群に比して多くなっており、世話をすることによる影響と類似の傾向がある。また、「時間の長い」群でのみ「当たり前だと思う」が「特にない」より多くなっており、世話をすることに対する思いが、他の群に比べ強いと考えられる（図表 3-4-2）。

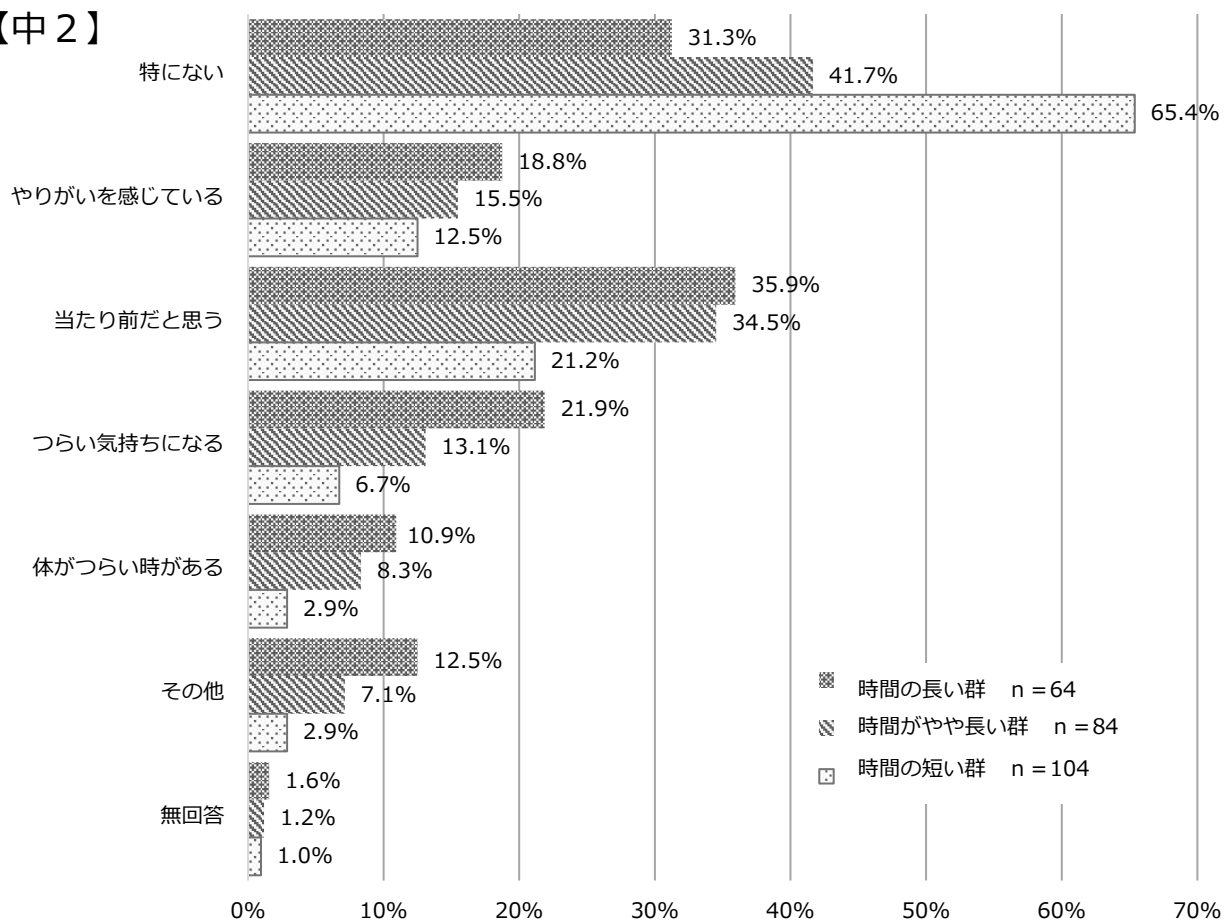
また、「世話をすることによる影響」【問 16】と「世話をすることについて思っていること」【問 17】の両設問における「特にない」が選択された割合を比較すると、「世話をすることについて思っていること」の方がすべての群で3割程度低くなっていることから、影響は具体的に答えられないが、思っていることは具体的に答えられたことがわかる（図表 3-4-1、図表 3-4-2）。

【問 17】（複数回答）お世話をすることについて思っていることがあれば教えてください。

図表 3-4-2 世話をすることについて思っていること



【中2】

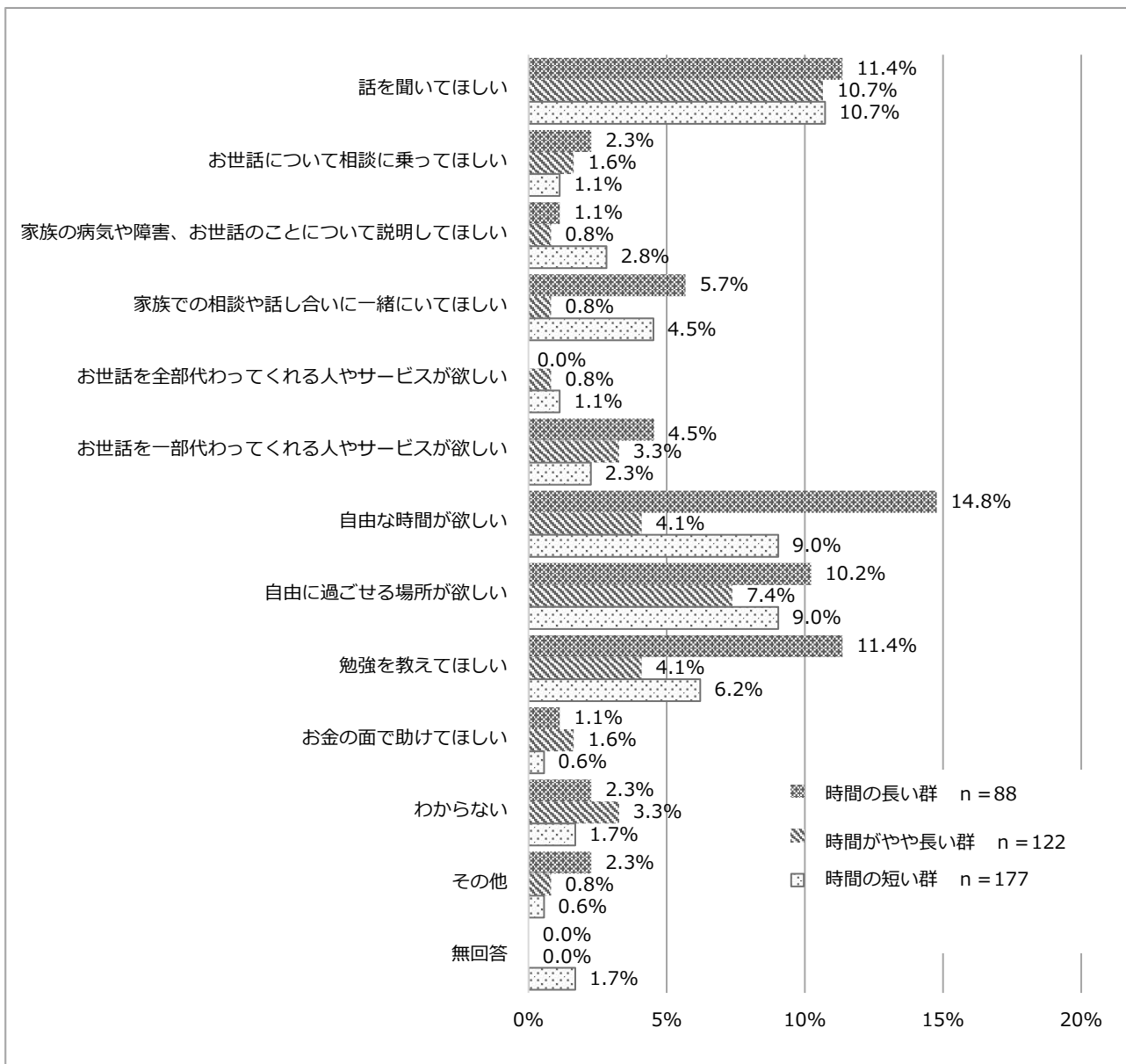
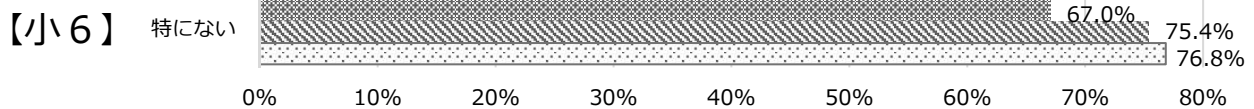


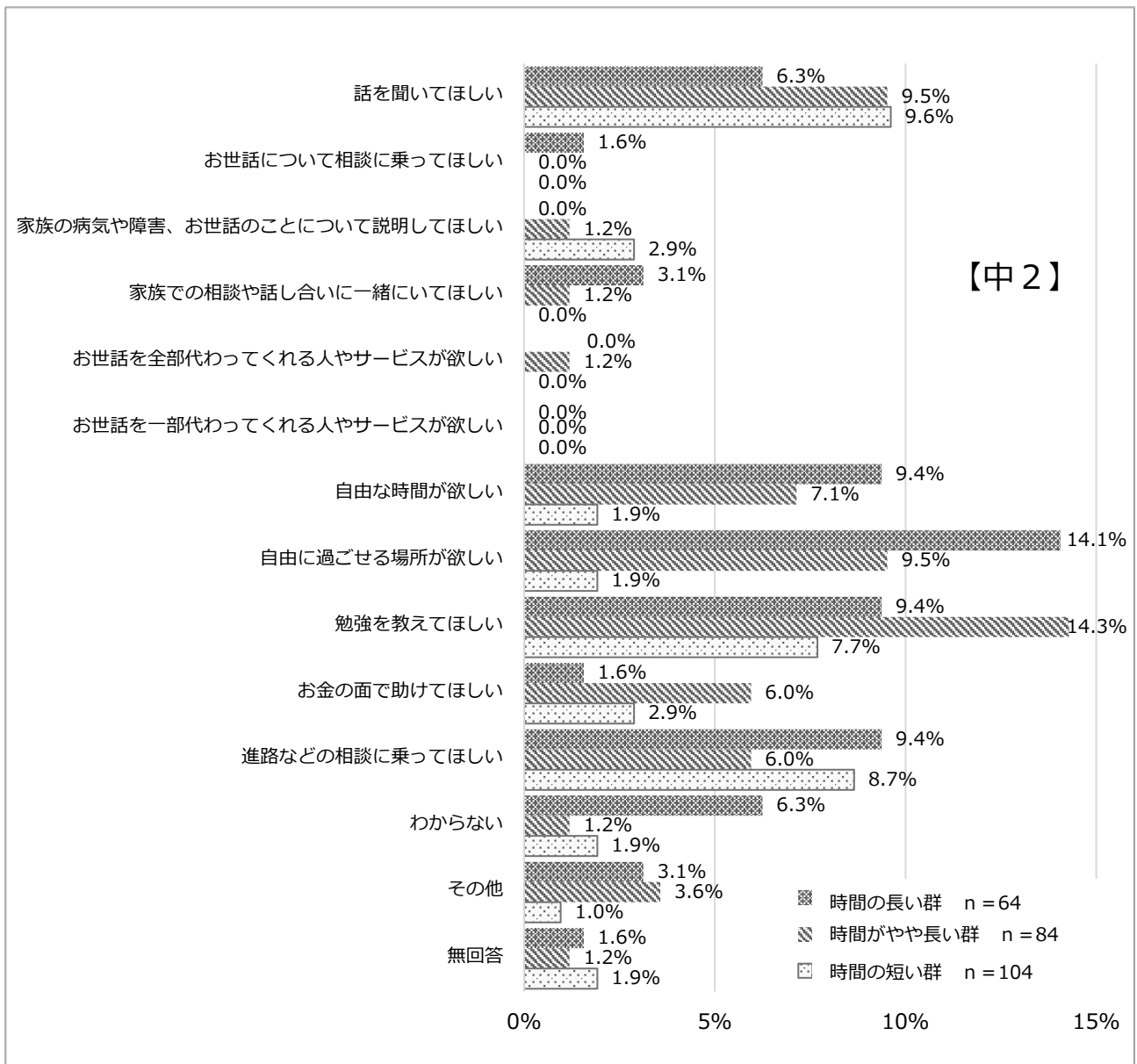
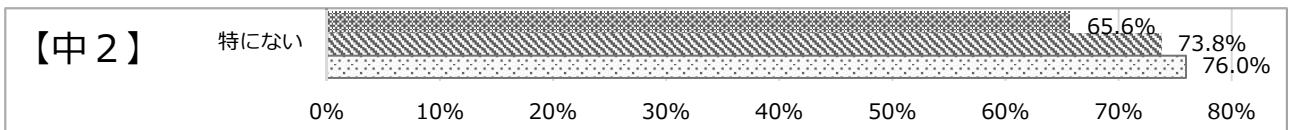
3-4-3 周囲に助けてほしいこと

学校や周りの大人に助けてほしいことでは、すべての群で「特にない」が7割前後と多くなっている。具体的な項目では、すべての群で「話を聞いてほしい」が約1割あり、群間で差異のある項目は、小学生の「時間の長い」群の「自由な時間が欲しい（15%）」、中学生の「時間の長い」群の「自由に過ごせる場所が欲しい（14%）」の回答がやや多くなっている（図表3-4-3）。

表 3-4-3 学校や周りの大人に助けてほしいこと

【問 18】（複数回答）学校や周りの大人に助けてほしいことはありますか。



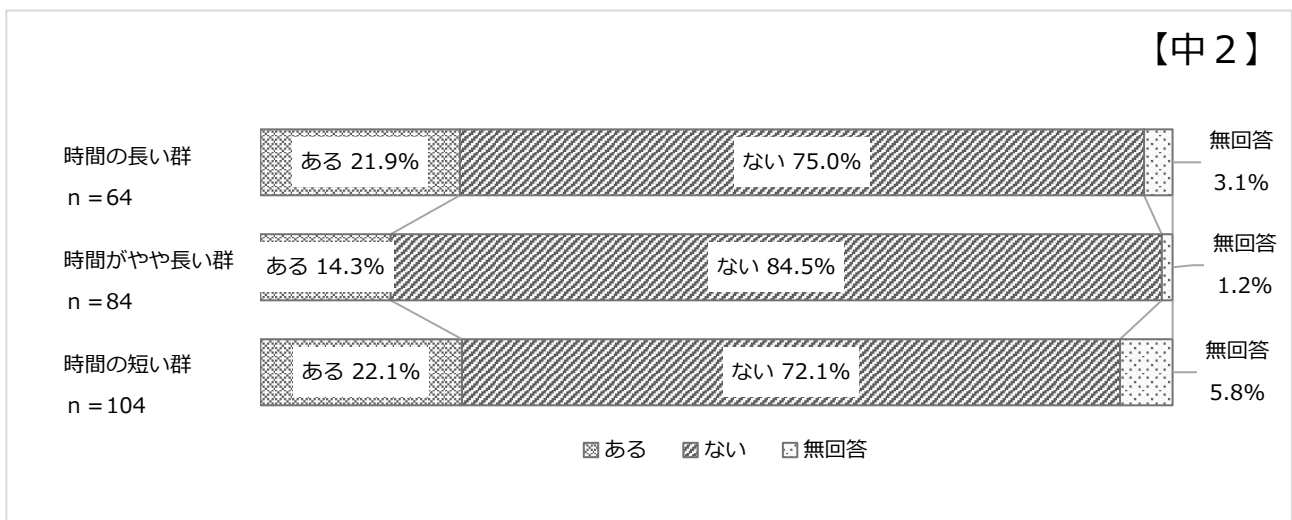
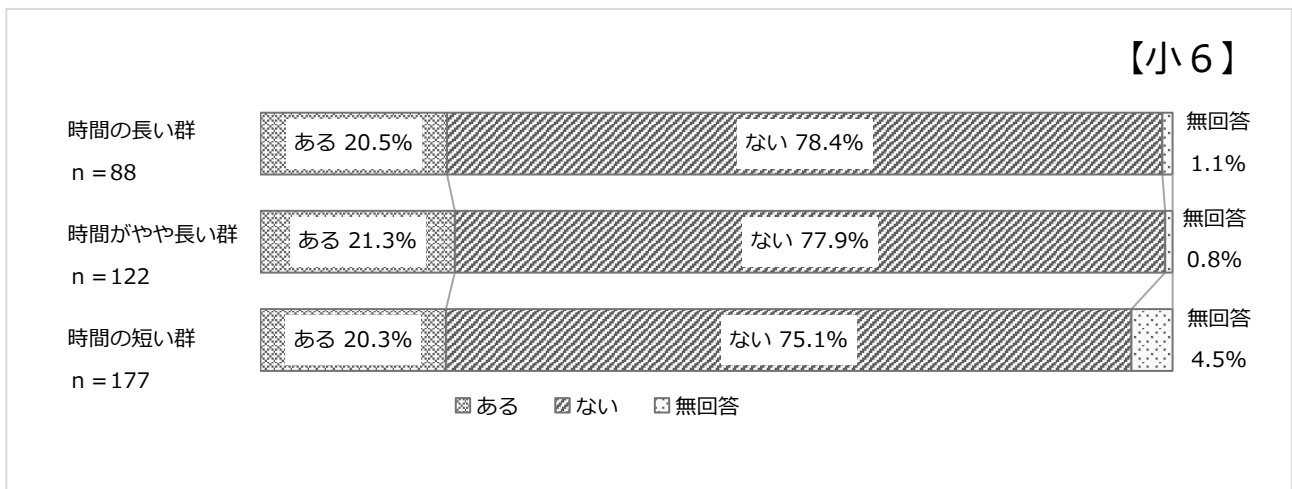


3-5 相談の状況

世話の悩みの相談経験は、「ある」の割合が、すべての群で約2割であり、多くの児童・生徒に相談経験がなかった（図表 3-5）。

【問 19】（単一回答）お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

図表 3-5 世話についての相談経験の有無





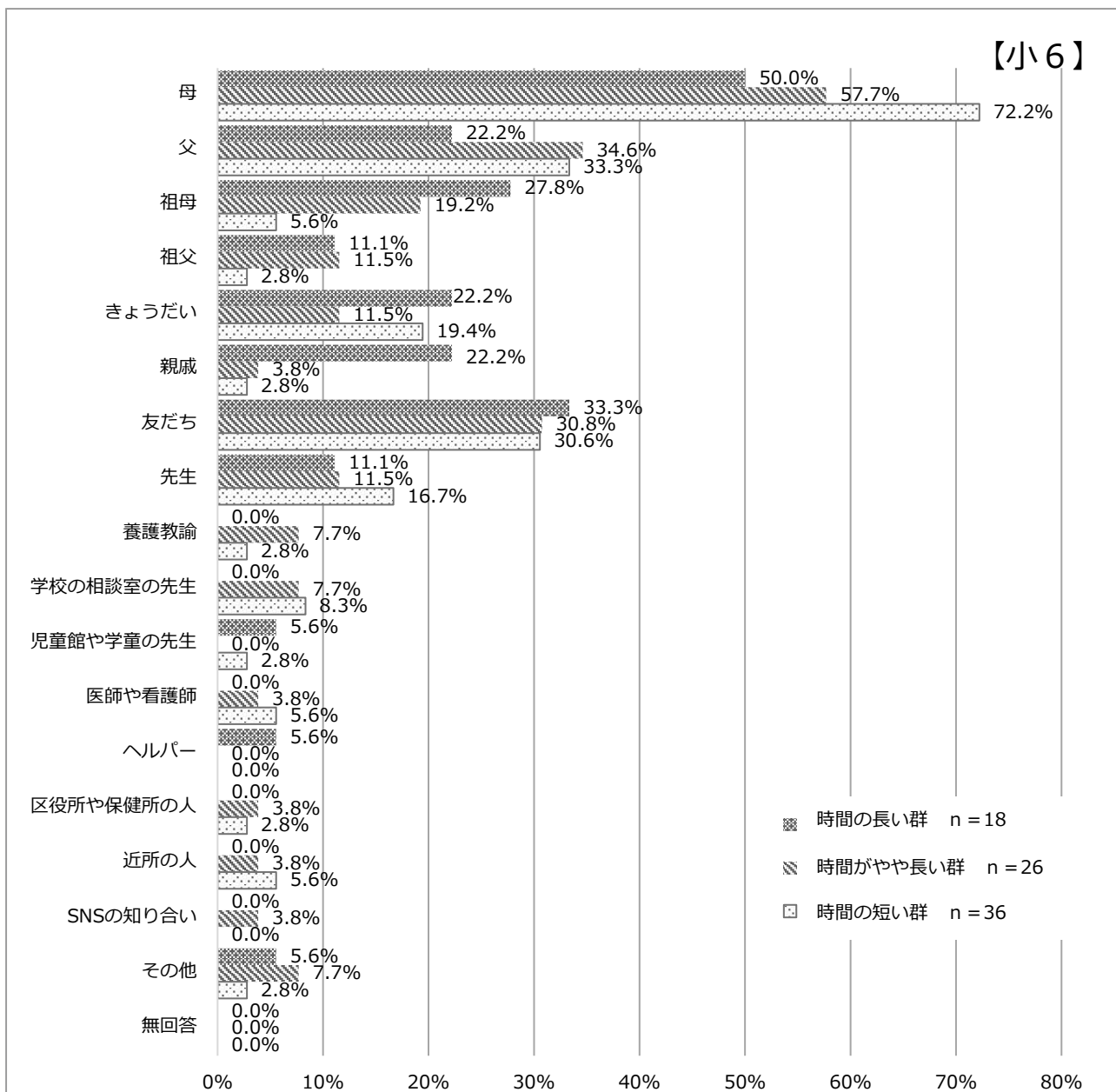
©2011 練馬区ねり丸

3-5-1 相談経験のある子どもの状況

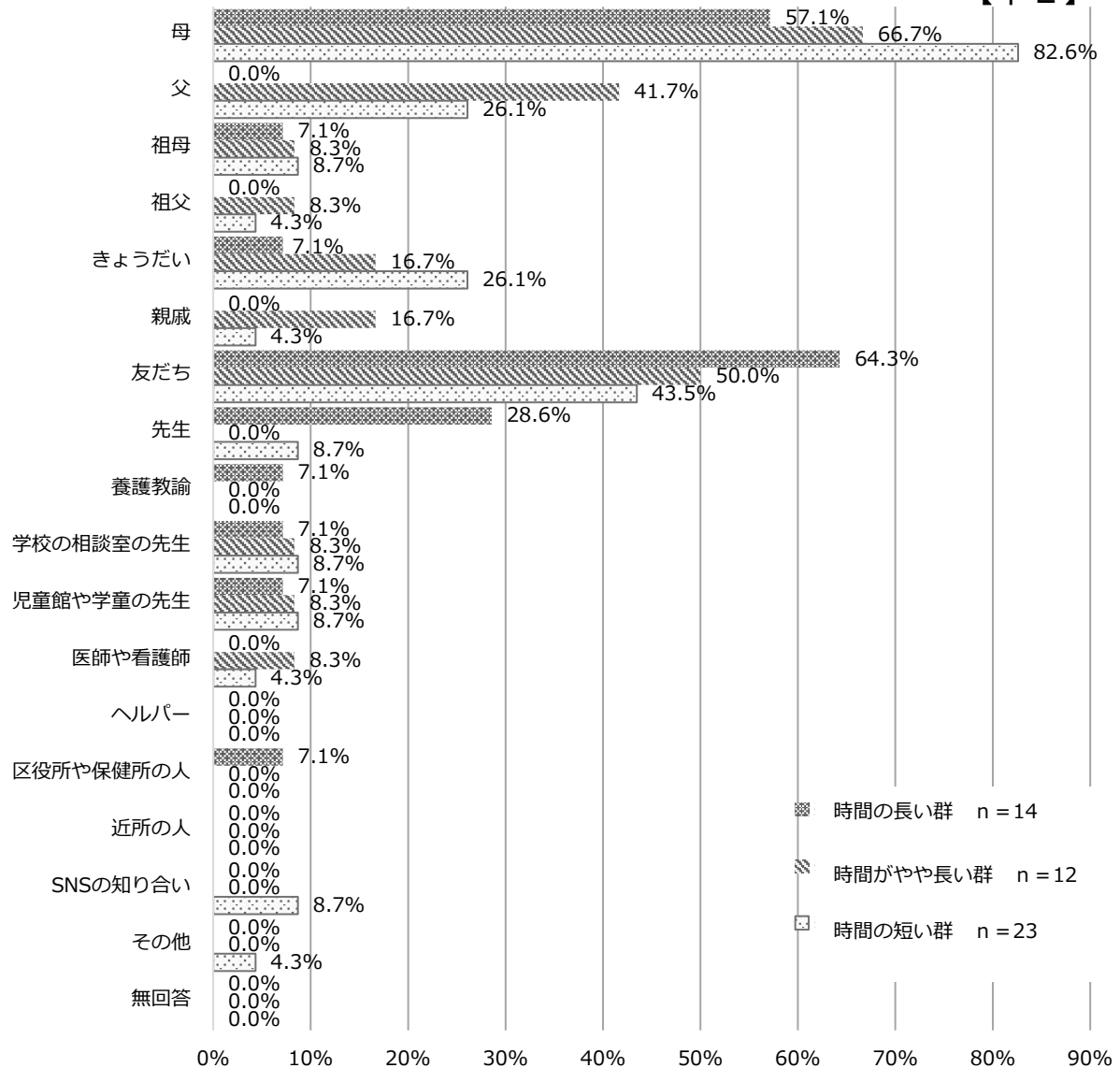
相談経験のある子どもが相談した相手は、「母」、「友だち」が多くなっている。また、「父」や「きょうだい」も一定数あり、世話に関する相談は、家族内での相談が主となっていると考えられる。相談の経験が「ある」【問 19】については、データの個数が少ないため、群間の詳細な分析には留意が必要である。

【問 20】（複数回答）相談した相手の人はだれですか。

図表 3-5-1 世話についての相談相手



【中2】



3-5-2 相談していない理由

相談経験が「ない」と回答した児童・生徒の「相談していない理由」は、すべての群において「誰かに相談するほどの悩みではない」が一番多く、中学生の「時間の長い」群以外のすべての群で4割を超えた。次いで「相談しても変わらないと思うから」が多く、中学生の「時間の長い」群では約3割あり、他の群より約1割多くなっている（図表 3-5-2-1）。

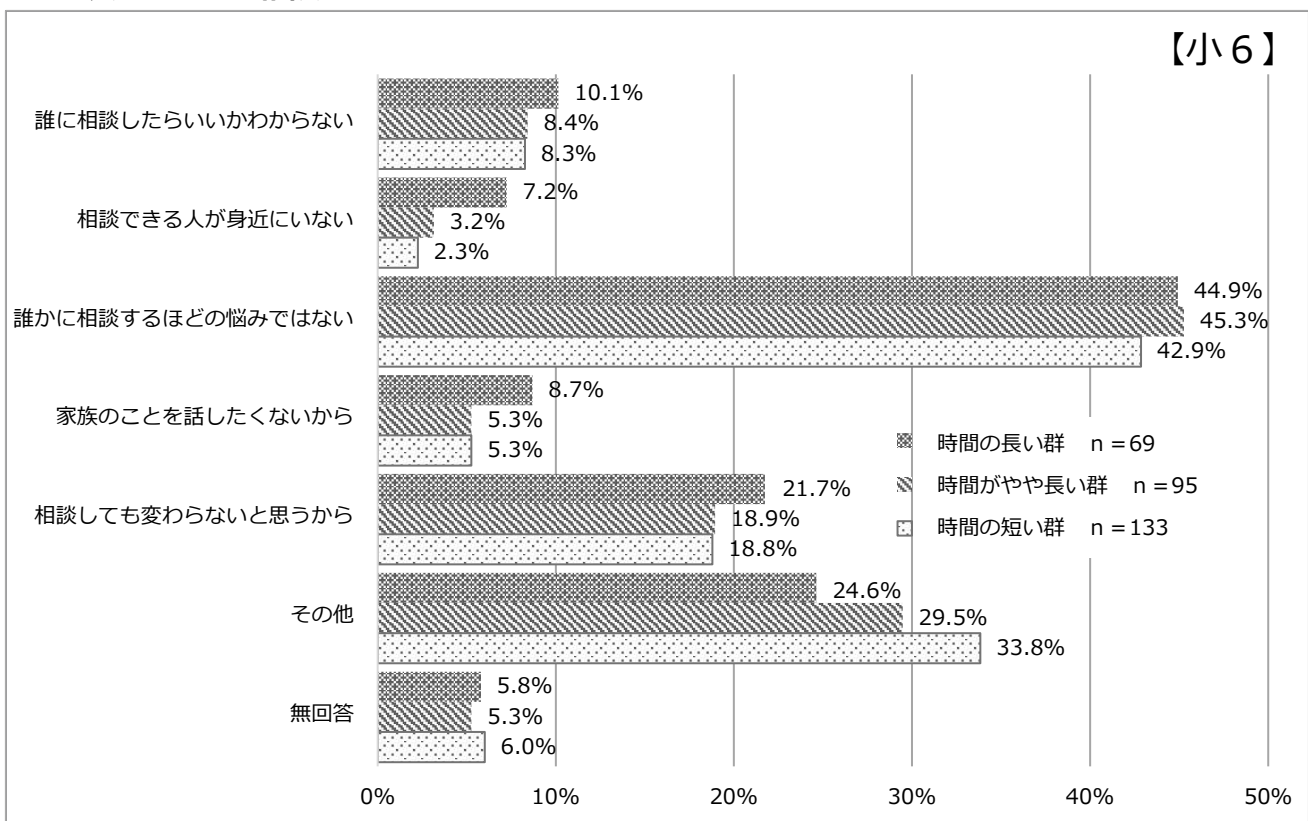
【問 22】悩みを聞いてくれる人の存在において「いる」の回答は、小学生、中学生ともに「時間の長い」群で一番少なくなっている（図表 3-5-2-2）。

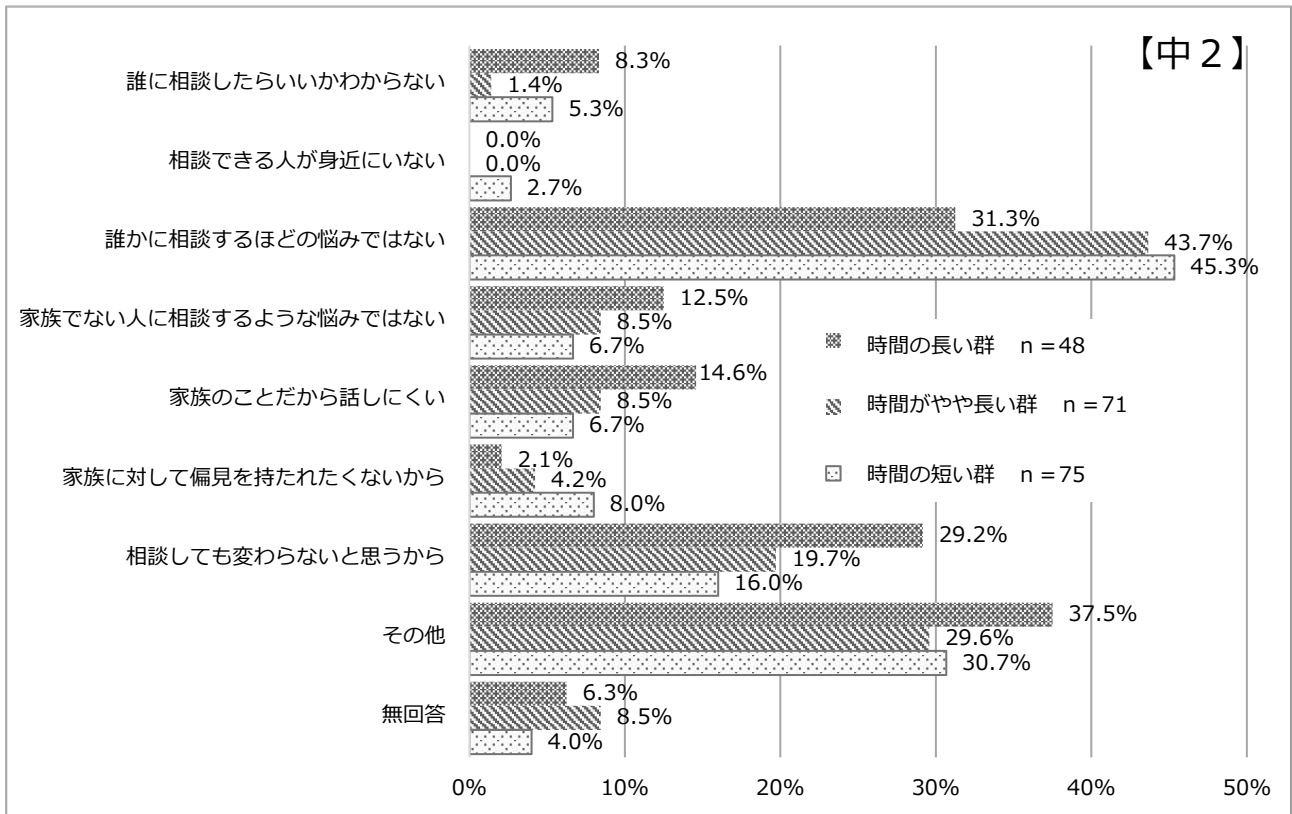
（相談経験のない回答者対象）

【問 21】（複数回答）相談していない理由を教えてください。

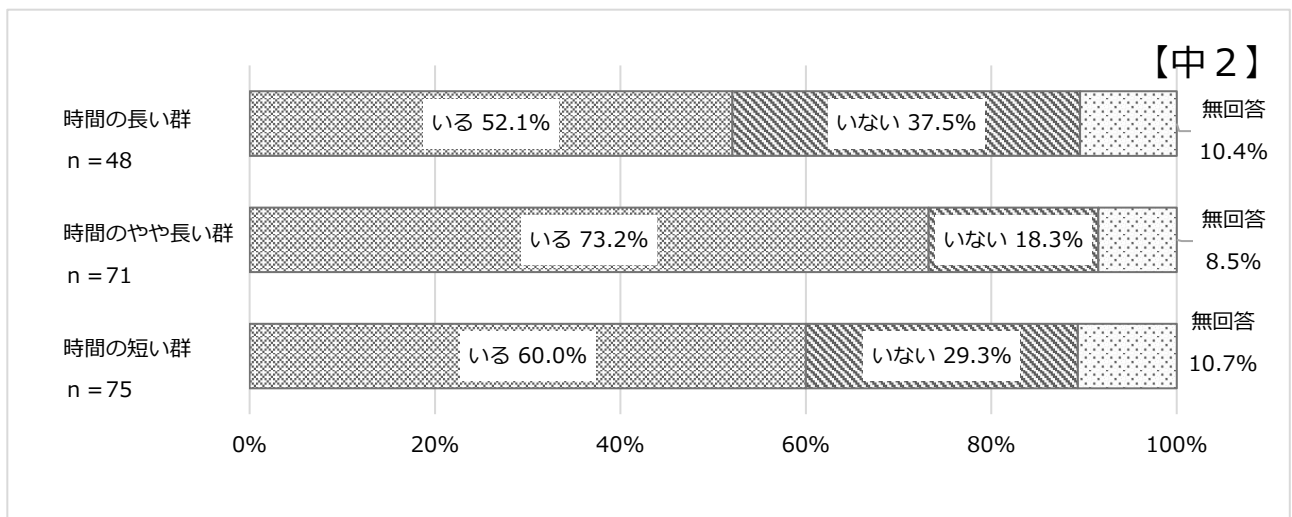
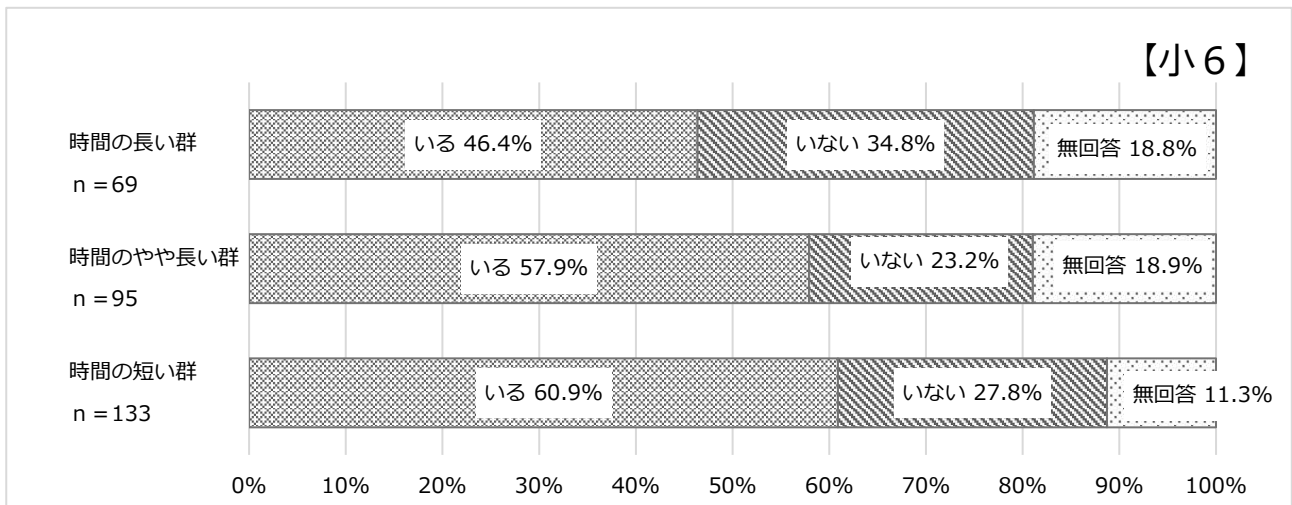
【問 22】（単一回答）お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

図表 3-5-2-1 相談していない理由





図表 3-5-2-2 悩みを聞いてくれる人の存在



3-6 家族の世話をしている児童・生徒の平日の生活状況

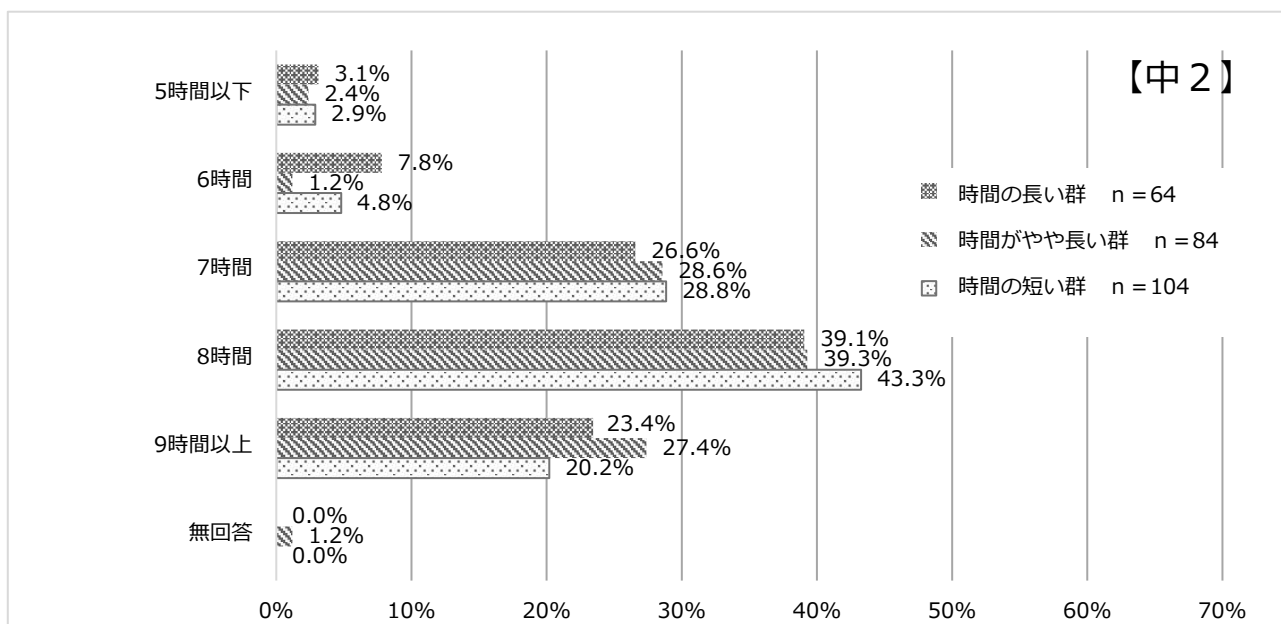
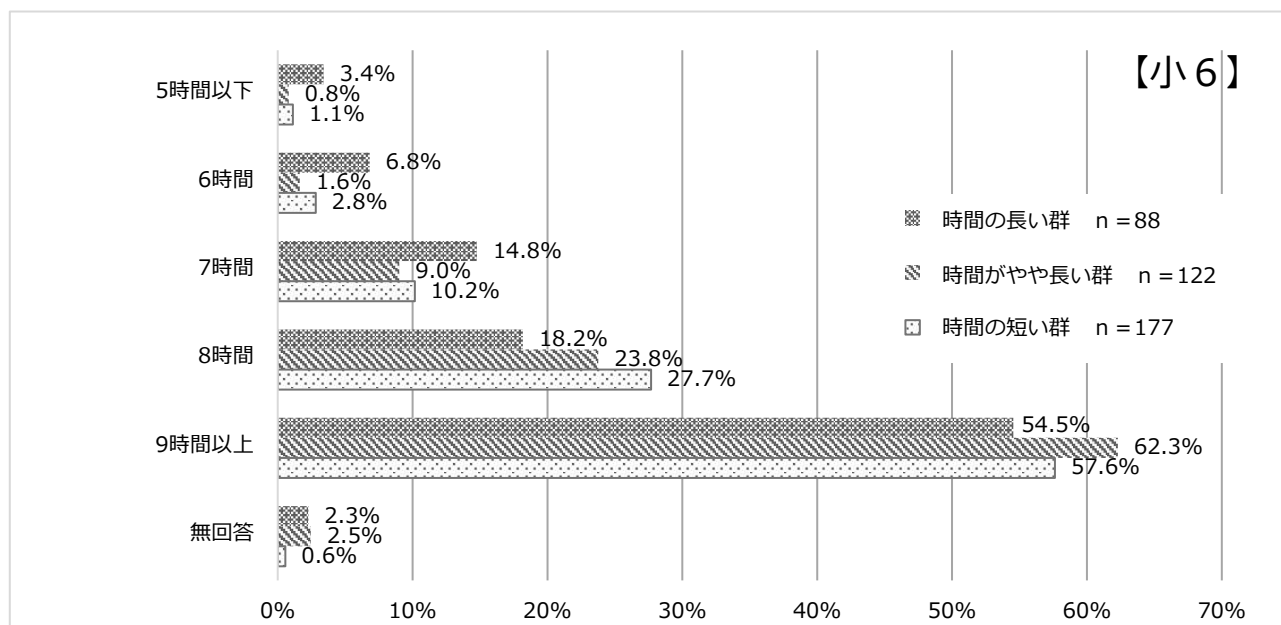
3-6-1 睡眠と朝食

睡眠時間については、「時間の長い」群で、小学生で7時間以下、中学生で6時間以下が他の群よりやや多い傾向があるが、差は小さく評価には留意が必要である（図表 3-6-1-1）。

朝食の喫食状況については、「時間の長い」群は他の群より「毎日食べている」の回答が少ない。「どちらかといえば食べている」を合わせてもその傾向は変わらない（図表 3-6-1-2）。

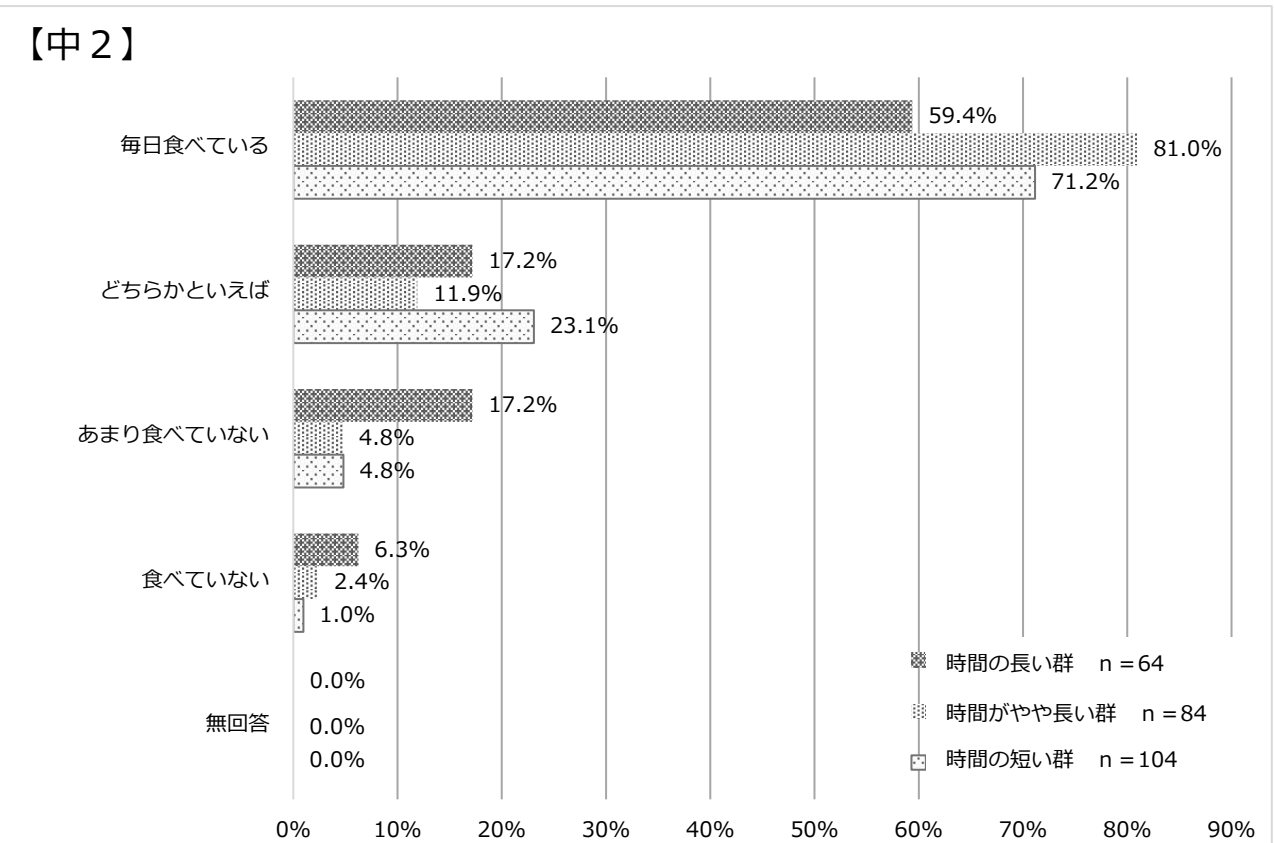
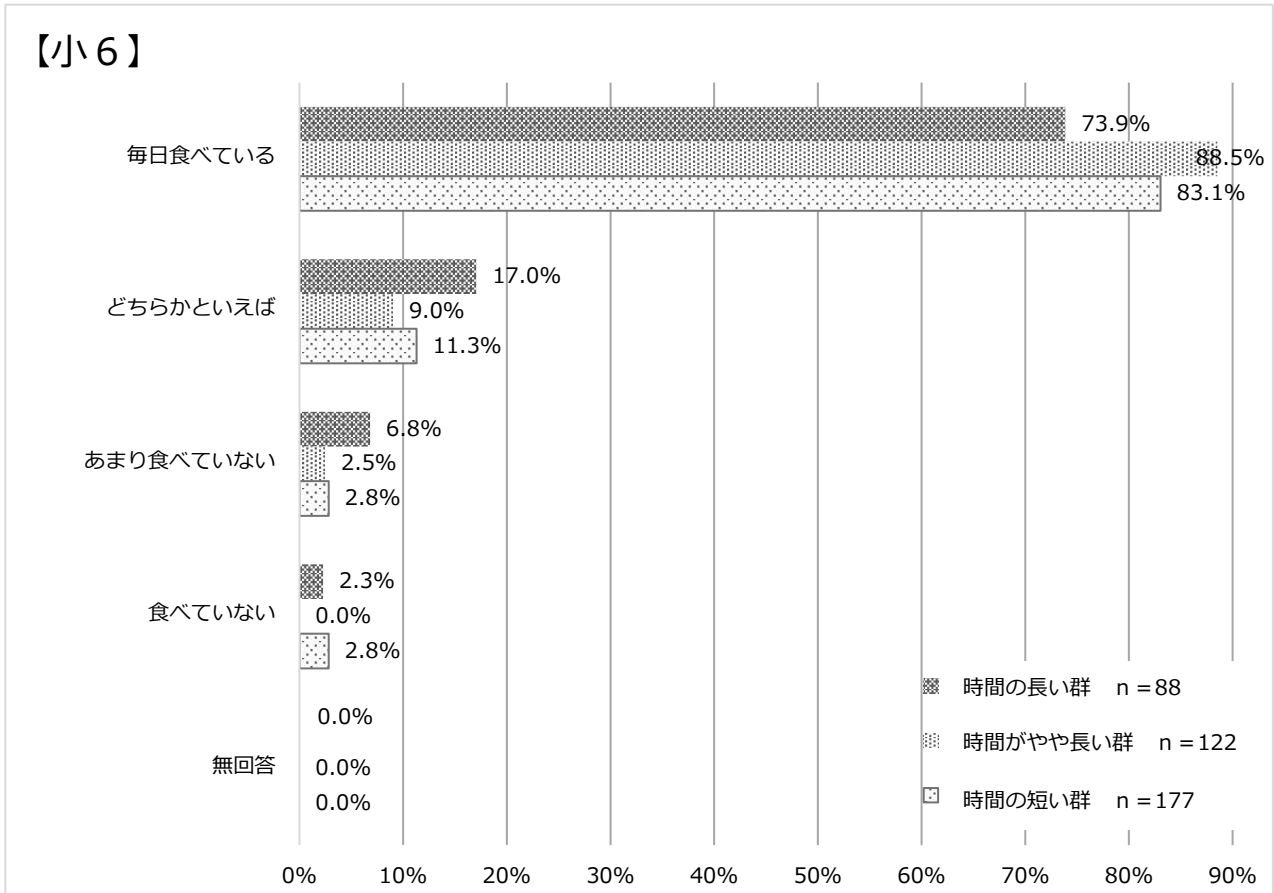
※【問 2】起床時間と【問 6】就寝時間の回答から算出

図表 3-6-1-1 睡眠時間



【問 3】（単一回答）朝食を毎日食べていますか。

図表 3-6-1-2 朝食の喫食状況



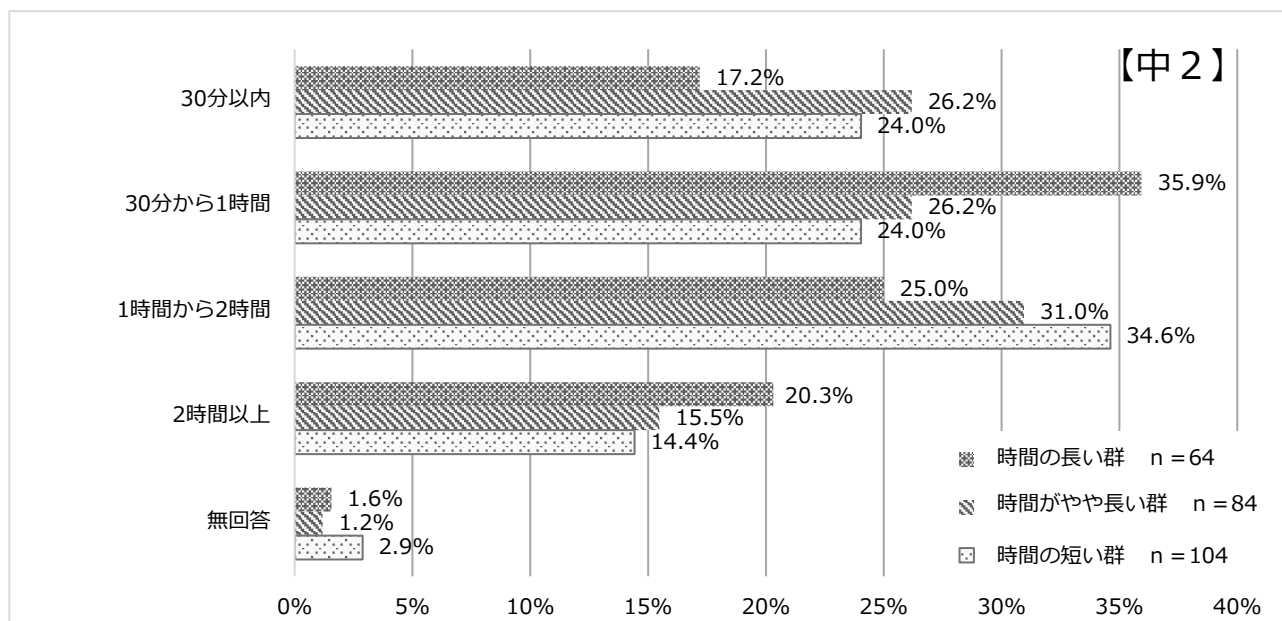
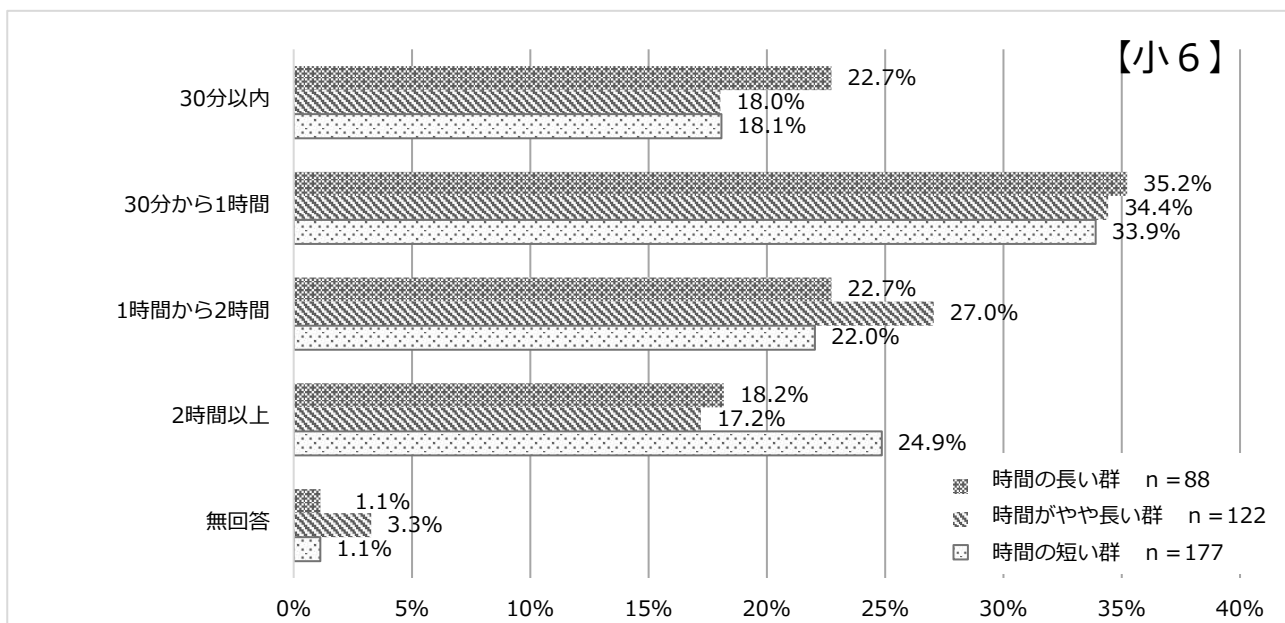
3-6-2 自分の時間

勉強時間については、小学生では「時間の長い」群で他の群より「30分以内」の回答がやや多く、「2時間以上」は「時間の短い」群で多くなっている。一方で、中学生では「時間の長い」群の「30分以内」が他の群と比べて少なく、「2時間以上」は多くなっている。小学生と中学生の結果には顕著な差異がある（図表 3-6-2-1）。

自由時間については、小学生では各群間に特徴的な差異は認められないが、中学生では「時間のやや長い」群で「1時間から2時間」の割合が高くなっている。

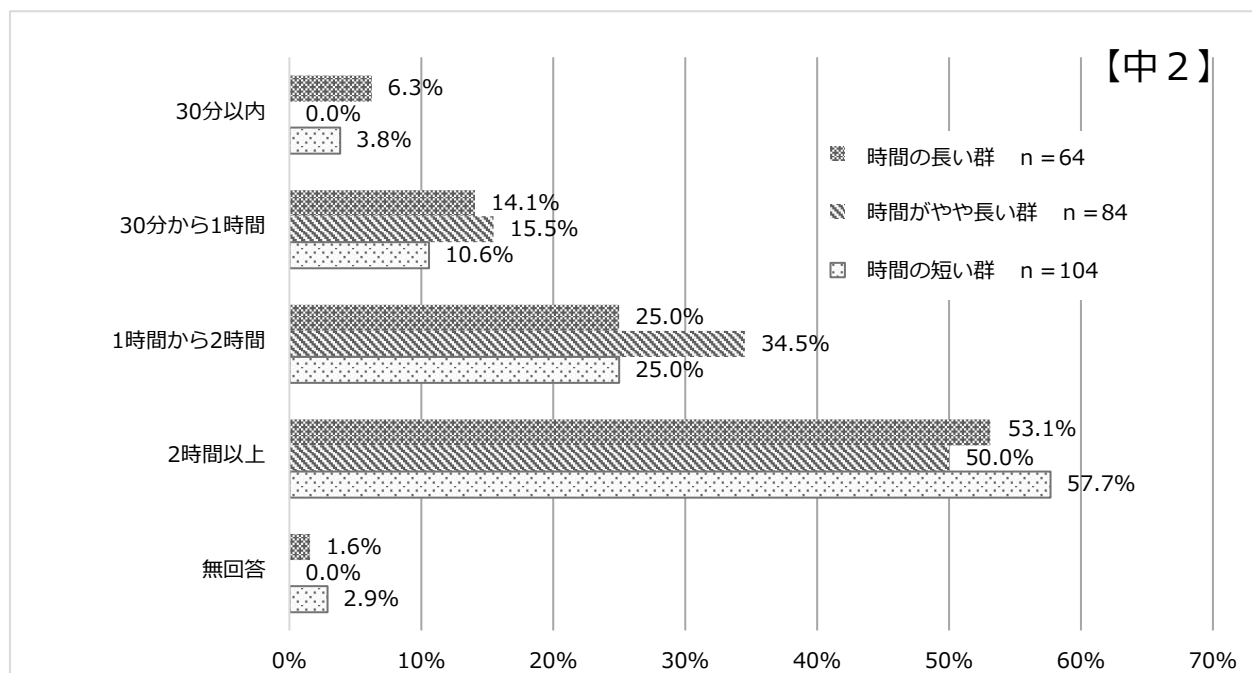
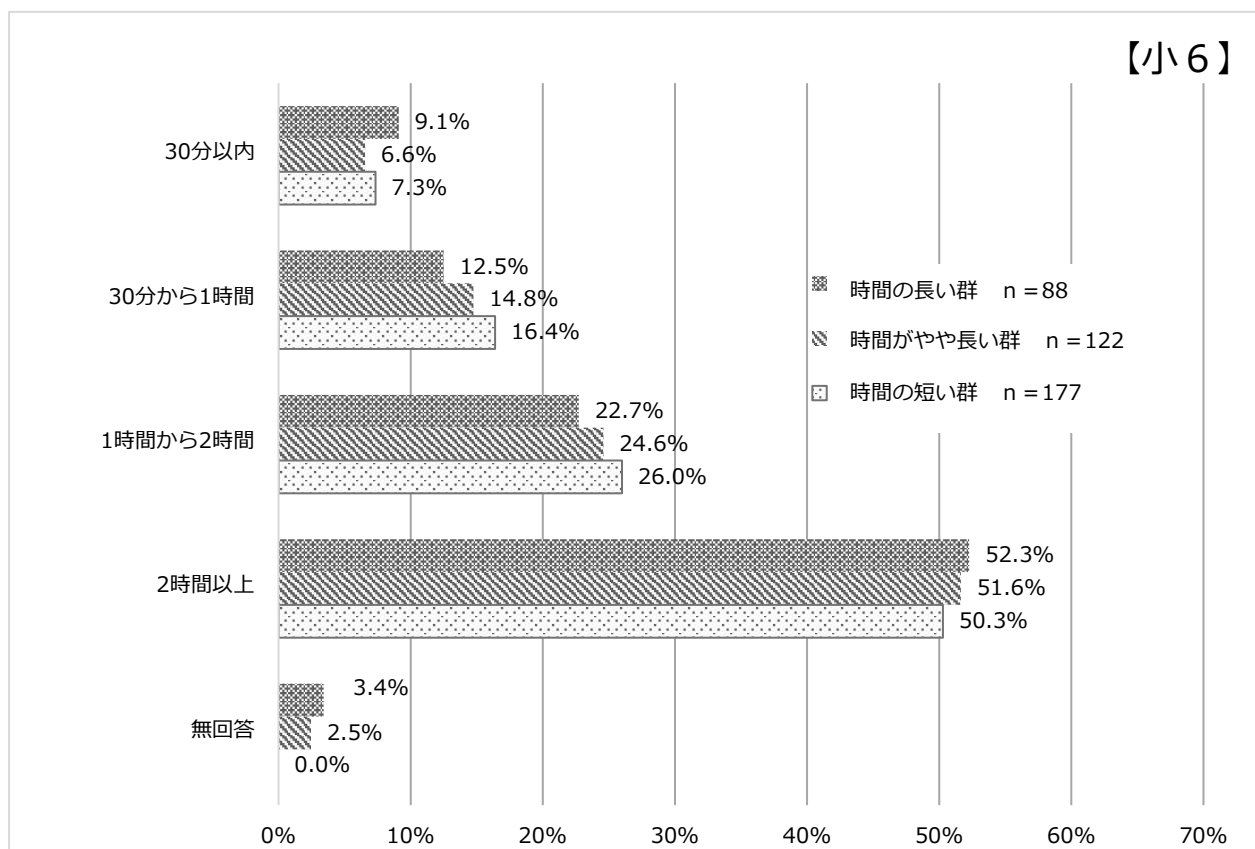
【問 4】（単一回答）学校以外で勉強する時間は1日どのくらいですか。

図表 3-6-2-1 勉強時間



【問5】（単一回答）学校以外で自分の自由に過ごせる時間は1日どのくらいですか。

図表 3-6-2-2 自由時間



3-7 生活満足度

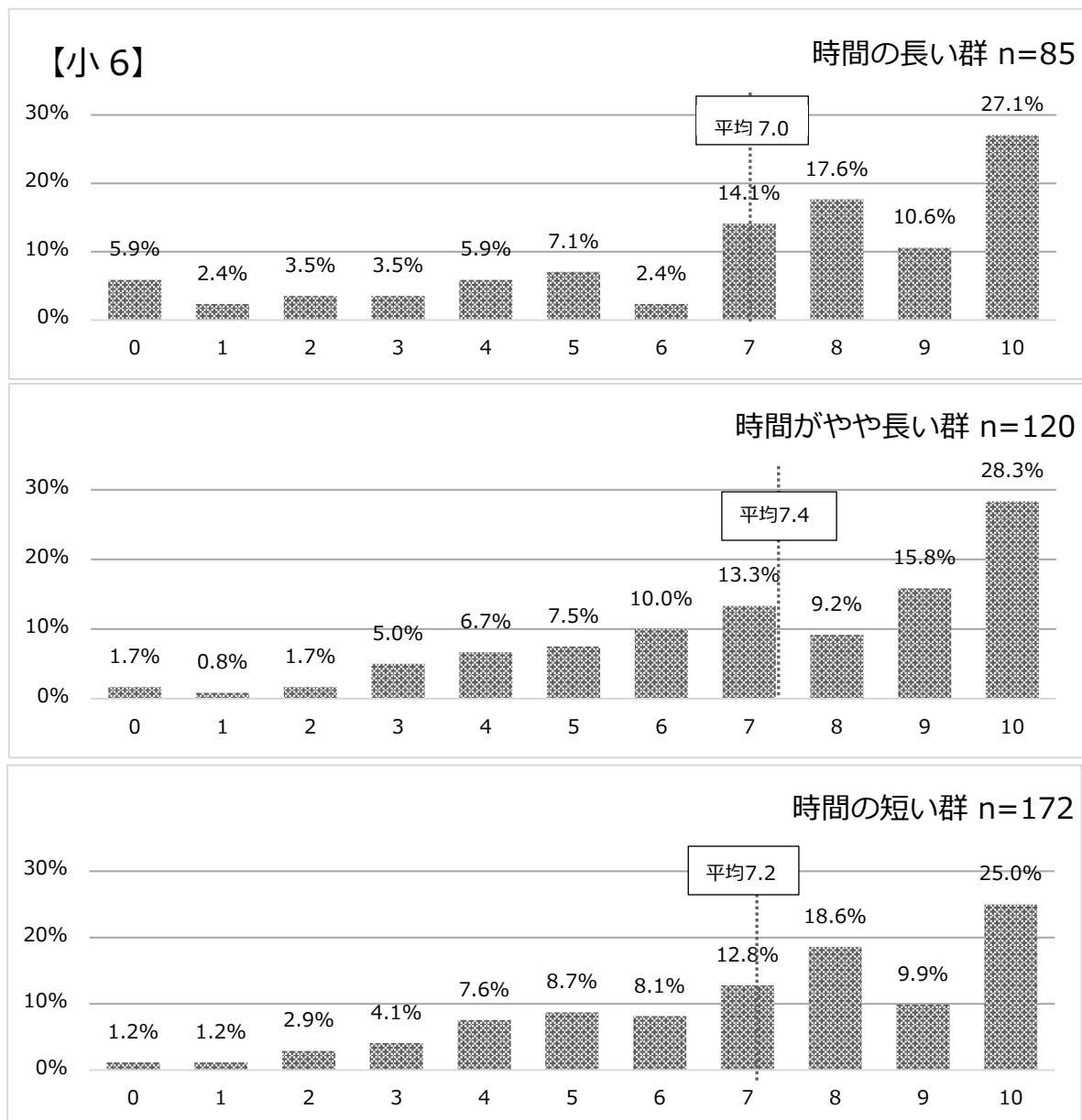
生活満足度では、回答が多い順に項目を並べ替えたときの中央の値について、小学生、中学生ともに「時間の長い」群で中央の値が「0」となっており、他の群とは差がある。中学生の最頻値は、他の群が「8」であるのに対し、「時間の長い」群では「7」となっている。また、平均でも差異がある。小学生においては、すべての群の最頻値は「10」であり、平均にも大きな差はない(図表 3-7)。

※生活満足度の集計には無回答を母数から除いている。

「OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA) 2018 年度調査」の日本の生徒 (15 歳) で生活満足度の平均は 6.2 であった。

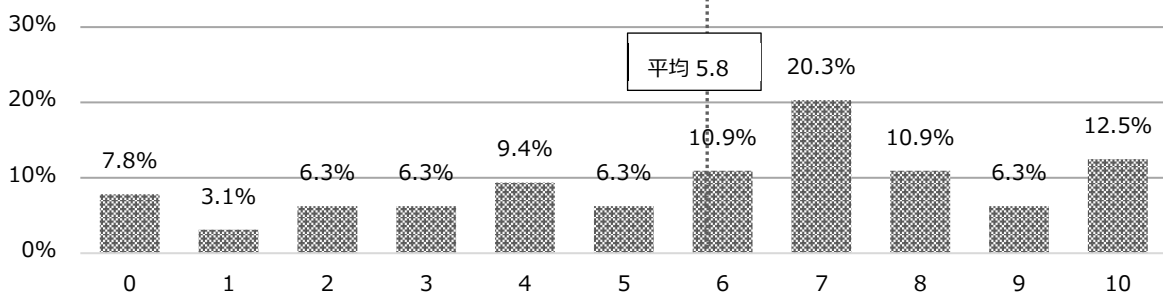
【問 23】 (単一回答) 最近の生活にどのくらい満足していますか。

図表 3-7 生活満足度

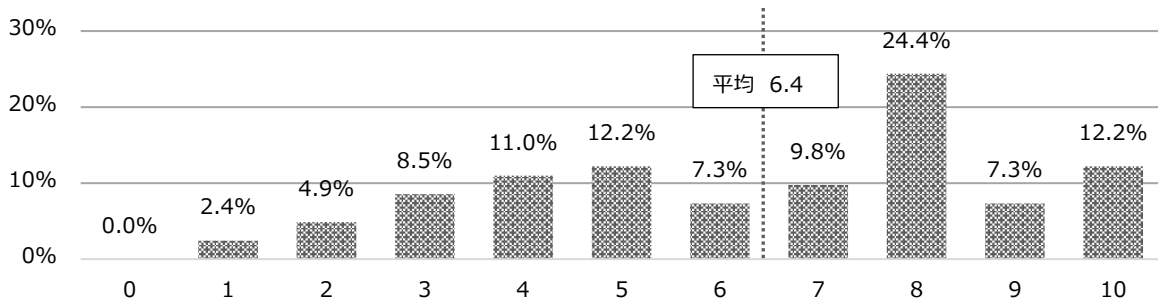


【中2】

時間の長い群 n=64



時間がやや長い群 n=82



時間の短い群 n=101

